



おとしやす
涼の旅路

京都文化交流コンベンションビューロー



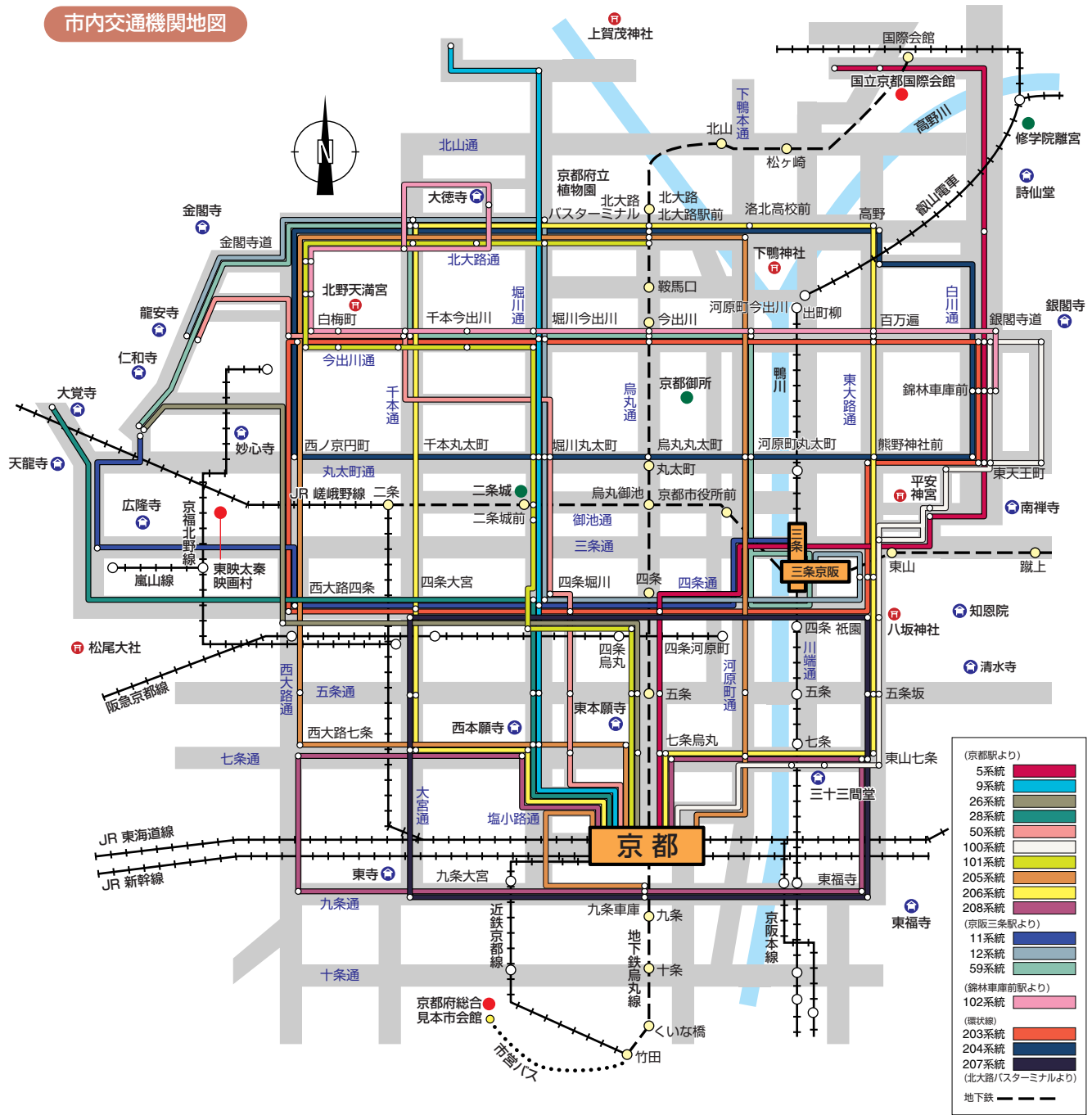
市内略地図	4-5
市内交通図	6-7
洛中エリア地図	8-9
観光名所の紹介〈洛中〉	10-13
洛東エリア地図	14-15
観光名所の紹介〈洛東〉	16-19
洛北エリア地図	20-21
観光名所の紹介〈洛北〉	22-25
洛西エリア地図	26-27
観光名所の紹介〈洛西〉	28-31
洛南エリア地図	32-33
観光名所の紹介〈洛南〉	34-35
美術、博物館の紹介	36-39
文化体験の紹介	40-43
京の歳時記	44-45
京の花暦	46-47
洛中人気スポット巡り	48-49
京都を歩こう ウォーキングモデルコース	50-53
京の市	54
観光案内施設 ・インターネットアドレス	55

本紙に掲載の料金等は変更されることがありますのでご確認ください。

市内略図



市内交通機関地図



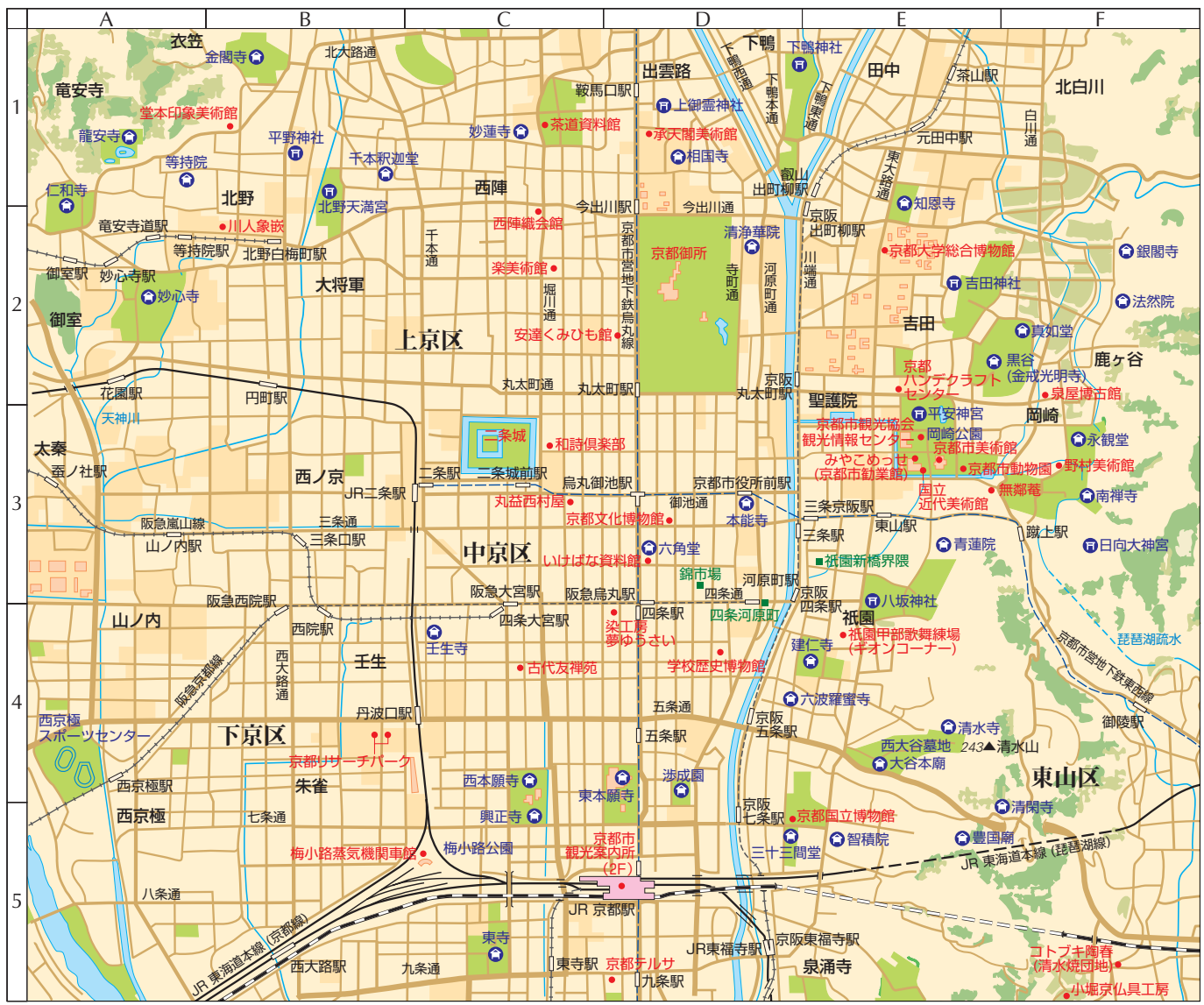
京都の
観光名所

洛中

RAKUCHU AREA

- 祇園
- 京都駅ビル
- 北野
- 下賀茂
- 西陣

洛中という呼び名は、豊臣秀吉が都市改造の際、市街のまわりに土塁(お土居)を築き、その内側を洛中、外側を洛外としたことに由来する。四条河原町、京都駅ビルなど、賑やかなエリアだが、一方で古い町並みを残す西陣や祇園など現在と伝統の融合が見られる。



洛 中〈各観光名所の紹介〉

東寺



C-5
世界文化遺産。平安京造営に際し、国家鎮護のために創建。823年に弘法大師に下賜され、真言密教の道場となった。五重塔(国宝)は高さ56.4mでわが国最大の塔である。国宝級の密教美術を多数収蔵している。毎月21日は「弘法さん」と呼ばれる縁日が立ち、境内は数多くの露店が立ち並び、

電話: 075-691-3325
時間: 9:00~16:30(9/20~3/19)
8:30~17:30(3/20~9/19)
料金: 500円(春・秋公開の宝物館/共通800円)

アクセス 近鉄東寺駅

西本願寺



C-4
世界文化遺産。親鸞聖人の娘・覚信尼が親鸞聖人の墓を東山大谷に移し、御影堂を建てたのが始まり。1591年、豊田秀吉の寄進により現在の場所に。伏見城の遺構を移したとされる書院・唐門はいずれも国宝。大書院には虎渓の庭と呼ばれる庭園と、日本最古の能の舞台がある。

電話: 075-371-5181
時間: 6:00~17:00
(時期によって時間変更あり)
料金: 境内自由(書院拝観は電話連絡にてお問い合わせください。)

アクセス 市バス西本願寺前(京都駅から#9)

三十三間堂



E-5
1164年、後白河上皇が平清盛に命じて創建。9つの顔を持ち、1,000本の手を持つ、千手観音坐像を中心に、千手観音立像1,001体が安置され、両端には、28体の御法神、風神・雷神像がある。毎年1月の成人の日には60m離れた的をめがけて矢を射る、「通し矢」が行われる。

電話: 075-525-0033
時間: 8:00~17:00
(11/16~3/31/9:00~16:00)
料金: 600円

アクセス 市バス博物館三十三間堂前(京都駅から#206, 208, 100)

建仁寺



E-4
日本にはじめて茶をもたらした栄西禪師によって1202年に創建された京都最初の禅寺。寺宝には依屋宗達の代表作、風神雷神図がある。毎年春の栄西禪師誕生会には大茶会が催され、禅宗古来の茶法が披露される。塔頭も多く境内に15の寺院がある。

電話: 075-561-0190
時間: 10:00~16:00
料金: 方丈/500円

アクセス 市バス東山安井(京都駅から#206)

二条城



C-3
世界文化遺産。1603年、將軍徳川家康が京都の宿所のために築いたのが起こり。東西約500m、南北約400mに砦を築き、堀をめぐらす。廊下は怪しい者が忍び込むのを防ぐために歩くとキュッキョクと音のするうくいす張りになっている。狩野探幽の襖絵も有名。梅、菊が咲くころがよい。

電話: 075-841-0096
時間: 8:45~17:00
料金: 600円

アクセス 地下鉄東西線二条城前駅
市バス二条城(京都駅から#9, 101)

京都御苑



D-2
京都市街のほぼ中央にあり、東西700m、南北1,300m、総面積11万㎡の敷地を誇る。かつては皇族や公家の邸宅が集まっていたが、東京遷都をきっかけに東京へ移動。その後、美しい芝生や約9,000本の樹木が茂るここは市民の憩いの広場となっている。

電話: 075-211-1215(宮内庁京都事務所)
※要事前申込
(春・秋に5日間ずつ一般公開)

アクセス 地下鉄烏丸線今出川駅

北野天満宮



B-1
学問・文芸の神様、菅原道真を祀る。受験シーズンになると合格祈願に多くの学生が訪れる。梅園の香り漂う、2月25日の梅花祭には、艶やかな芸妓から茶でもてなされる。毎月25日に行われる「天神さん」は、骨董、植木などを扱う露店が多く出る。

電話: 075-461-0005
時間: 5:00~17:30
(11~3月/5:30~17:30)
料金: 境内自由(無料)

アクセス 市バス北野天満宮前(京都駅から#50, 101)

下鴨神社



E-1
世界文化遺産。糺ノ森の北にある京都最古の神社の一つ。毎年5月15日に行われる「葵祭」は雅やかな王朝絵巻が御所から下鴨神社を経て、上賀茂神社へと繰り広げられる。また7月に行われる「御手洗会」では御手洗川に足をつけると夏やせを防止、病気に罹らないといわれる。

電話: 075-781-0010
料金: 境内自由(無料)

アクセス 市バス下鴨神社前(京都駅から#205)

洛 中〈各観光名所の紹介〉

祇園新橋界限



E-3
四条通の北側、新橋通に沿った祇園元吉町一帯。高級なお茶屋が東西に整然と軒を連ね、舞妓、芸妓などが歩く、風情ある風景が広がる。カメラに収めるなら夕暮れ時が狙い目。祇園をこよなく愛した歌人、吉井勇の歌碑もここにある。

アクセス 地下鉄東西線三条京阪駅

四条河原町界限



D-3.4
デパートや銀行などが軒を連ねるビル街、四条通。娯楽施設やテナントビルが並ぶショッピング街、河原町通。この二つの通りが交わる四条河原町周辺は、市内随一の繁華街。東西を走る四条通は新京極や寺町京極のアーケード街とも接していて大変にぎやか。

アクセス 地下鉄烏丸線四条駅

京都駅界限



京都タワー

D-5
1964年、京都駅前に地上131mのろうそく型の展望タワーとして誕生。以来、京都の表玄関のシンボル。地上100mの展望室から見る市街の夜景は格別。
電話：075-361-3210
料金：770円

アクセス JR・地下鉄烏丸線京都駅

京都駅ビル

4代目駅舎として1997年にオープン。駅ビルの規模としては日本で、ホテル、劇場、美術館、デパートのほか観光案内所など、多彩な機能が備わる。大階段や空中経路、広場は人々の憩いの場。

電話：075-361-4394(京都駅ビル開発)
075-361-4401(インフォメーション)

アクセス JR・地下鉄烏丸線京都駅

東本願寺

1602年、将軍徳川家康により、西本願寺から独立したのが起こり。広大な敷地に巨大な伽藍が立ち並び、中心にある御影堂は世界最大級の木造建築。

電話：075-371-9181
時間：5:50~17:30
(11~2月/6:20~16:30)
料金：境内自由(無料)

アクセス JR・地下鉄烏丸線京都駅

ギョレコーナー



E-4
京都五大踊りの一つ「都をどり」の会場、祇園甲部歌舞練場の北側にある弥栄会館1階で、観光客向けに伝統芸能をショー形式で公演。茶道、琴、華道、雅楽、狂言、京舞、文楽などが、約1時間のうちに演じられる。気軽に楽しめるので、観光客に人気。

電話：075-561-1119
時間：19:40と20:40の2回公演
8/16、11/30~2月末休

アクセス 市バス東山安井(京都駅前から#206)

西陣織会館



C-2
日本の代表的工芸品として世界に知られる西陣織。7階建ての現代的なビルでは、この西陣織に関する歴史・製作工程・製品・資料などを紹介している。きものショーをはじめ、手織りの実演、また、町着や舞妓姿、十二単を着ることも出来るので、観光客に人気。

電話：075-451-9231
時間：9:00~17:00
料金：無料(着付/3,000円~8,800円)

アクセス 地下鉄烏丸線今出川駅
市バス西陣織会館(京都駅前から#9,101)

京都ハンデクラフトセンター



E-2
京都の伝統工芸業者が協同設立したもの。館内では、京人形、扇子、陶器、染織工芸品、象嵌などの伝統工芸品の販売をはじめ、職人による実演も見られる。カメラ、時計、電化製品なども販売。ほかに、七宝・木版画・木目人形の体験教室も実施している。外国人旅行者が多い免税店。

電話：075-761-5080
時間：10:00~18:00

アクセス 市バス熊野神社前(京都駅前から#206)

錦市場



D-3
錦小路通の寺町通から高倉通間の東西400m、幅4mの路地に約150軒の食料品店が並び京の台所。京都市民はもとより遠方からの買い物客で終日賑わう。

アクセス 地下鉄烏丸線四条駅

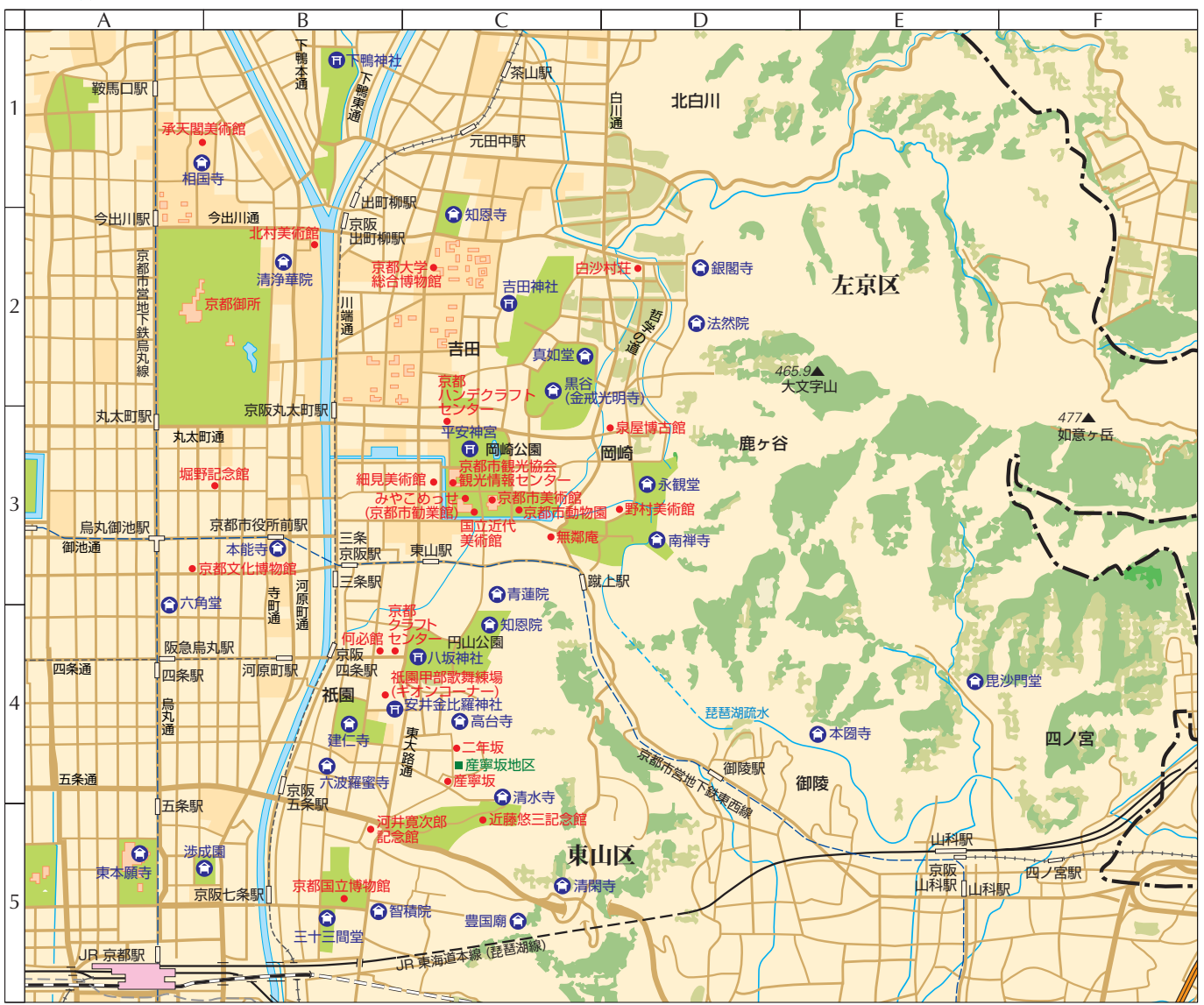
京都の
観光名所

洛東

RAKUTO AREA

- 清水寺
- 東山
- 岡崎
- 南禅寺
- 銀閣寺

東に東山三十六峰が連なるこの辺りは、東山とも呼ばれる。有名な社寺が数多くあり、また美術館や図書館、博物館などの文化施設も点在する文化ゾーンとしても知られる。他のエリアに比べ、面積が狭く、散策の道も多くあるので歩くコースとしておすすめだ。



洛 東く各観光名所の紹介

清水寺



C-4
世界文化遺産。現在の建物の大部分は1633年に再建。「清水の舞台」で有名な国宝の本堂は139本の柱に支えられた雄大な舞台造。「清水寺」の名の由来となった音羽の滝は万病に効く霊水といわれる。一帯は、市街が一望できる景勝地で、春は桜、秋は紅葉が美しい。

電話: 075-551-1234
時間: 6:00~18:00(夏は18:30)
料金: 300円

アクセス 市バス清水道または五条坂
(京都駅前から#206、100)

高台寺



C-4
豊臣秀吉の妻ねねが夫の菩提を弔うために創建。たび重なる火災で、創建当初の建物は、開山堂・霊屋・表門(いずれも重要文化財)を残すだけである。開山堂を中心に広がる庭園は国の史跡・名勝に指定。寺宝として秀吉夫妻遺愛の調度品が多く残る。

電話: 075-561-9966
時間: 9:00~17:00
料金: 600円

アクセス 市バス東山安井(京都駅前から#206)

産寧坂地区



C-4
八坂から清水寺に通じる緩やか石畳の坂道を、産寧坂という。一帯は国の伝統的建造物群保存地区に指定。清水焼・西陣織などを売る土産物屋が軒を連ね、風情ある町並みが見られる。石段で転ぶと三年で死ぬという迷信があり、三年坂とも呼ばれる。二年坂、ねねの道、石塀小路へと続く屈指の散策路。

アクセス 市バス清水道(京都駅前から#206)

八坂神社



C-4
創建は明らかではないが、877年、京の都に大流行した悪疫を払ったといわれ、以来、疫病よけの社として信仰を集めている。一際目を引く朱塗りの桜門は国の重要文化財。7月に行われる日本三大祭の一つ「祇園祭」は当所の祭礼。また大晦日のおけら詣りも有名。

電話: 075-561-6155
料金: 境内自由(無料)

アクセス 市バス祇園(京都駅前から#206、100)

円山公園



C-4
八坂神社の東部に広がる約9万m²の公園。園内は池を中心に茶店や料亭が点在し、四季を問わず風情がある。京都随一の桜の名所で、中央にある枝垂桜は名高く、樹齢200年以上。国の名勝にも指定されている。

電話: 075-561-0533
料金: 園内自由(無料)

アクセス 市バス祇園(京都駅前から#206、100)

知恩院



C-4
1175年、法然上人によって創建される。本堂は一度に3千人が参詣できる。わが国最大の三門・銅鐘などみどころは多い。あまりにも上手く描かれたため襖絵から抜け出した「抜け雀」、歩くと音がする「鶯張りの廊下」といった7不思議を探索するのも面白い。

電話: 075-531-2111
時間: 方丈/9:00~16:10
(12~2月/9:00~15:40)
料金: 境内自由(無料) 方丈/400円

アクセス 地下鉄東西線東山駅
市バス知恩院前(京都駅前から#206、100)

青蓮院



C-3
1788年の大火の際、天皇の仮御所となったことから粟田御所とも呼ばれ、気品に満ちたたたずまいを見せる。文化財を多数収蔵しているが、中でも青不動と呼ばれる国宝の不動明王二童子像が有名で、現在奈良国立博物館に寄託されている。

電話: 075-561-2345
時間: 9:00~17:00
料金: 500円

アクセス 地下鉄東西線東山駅

平安神宮



C-3
1895年、平安遷都1100年を記念して創建。平安京(794年)の宮廷を8分の5に縮小して造られ、緑と朱の鮮やかな社殿の奥に、3つの池と4つの庭園を持つ。しだれ桜が咲く春は是非訪れたい。華麗なる時代絵巻を繰り広げる時代祭は毎年10月22日に行われる。

電話: 075-761-0221
時間: 神苑/8:30~17:30(3月1日~14日及び9~10月/
8:30~17:00、11~2月/8:30~16:30)
料金: 境内自由(無料) 神苑/600円

アクセス 地下鉄東西線東山駅
市バス京都会馆・美術館前(京都駅前から#100)

洛 東〈各観光名所の紹介〉

真如堂



C-4
1984年、比叡山・常行堂にあった阿弥陀如来像を移し建立。正しくは「真正極楽寺」といい、広々とした閑静な境内には本堂や三重塔、観音堂などが立ち並び、寺宝も多く、なかでも大涅槃図は有名。本尊阿弥陀如来は京都六阿弥陀の一つ。
電話: 075-771-0915
時間: 本堂・庭園/9:00~16:00
料金: 境内自由(無料)
本堂・庭園/500円

アクセス 市バス真如堂前(京都駅前から#5)

南禅寺



C-4
1291年、亀山天皇が離宮を禅寺にしたのが始まり。狩野探幽の襖絵、水呑み虎は有名。庭園は「虎の子渡し」と呼ばれる禅院四季枯山水の名庭で、小堀遠州の作。また境内の南には、赤レンガの水路閣があり、東山の静かな風景に溶け込んでいる。
電話: 075-771-0365
時間: 方丈・三門/8:40~17:00
(12~2月/8:40~16:30)
料金: 境内自由(無料)
方丈・三門/500円

アクセス 地下鉄東西線蹴上駅

永観堂



C-4
正式には禅林寺。重要文化財に指定される本尊の阿弥陀如来像は、「見返り阿弥陀」と呼ばれ優しげな面持ちで左肩から後ろに振り向いた高さ80cmの美しい立像だ。また「紅葉の永観堂」の名で親しまれる。身頃は11月中下旬。山腹には市街を一望できる多宝塔が建つ。
電話: 075-761-0007
時間: 9:00~17:00(11月/8:30~17:00)
料金: 600円
(寺宝展開催中 1,000円)

アクセス 市バス南禅寺・永観堂道(京都駅前から#5)

銀閣寺



C-4
世界文化遺産。1489年に將軍足利義政が建てた山荘。白砂が緩やかな波のように敷かれた庭園は、銀沙灘と向月台と称する2つの砂盛りがある。月待山にのぼる月の光を反射させ、その明かりで庭を賞できるように作られたといわれている。金閣寺と対照してみたい。
電話: 075-771-5725
料金: 8:30~17:00
(12月~3/14/9:00~16:30)
料金: 500円(東求堂は要はかき申込1,000円)

アクセス 市バス銀閣寺前(京都駅前から#5, 100)

無鄰庵(むりんあん)



C-4
政治家、山県有朋の別荘として1896年に完成。東山を庭の景色の一部として取り入れた名園で知られ、約3,300m²ある敷地内には、2つの池を配し、後方にはなだらかな築山がある。この洋館は政治家達が日露開戦について会議した場所としても有名。
電話: 075-771-3909
時間: 9:00~16:30
料金: 350円

アクセス 地下鉄東西線蹴上駅

京都市動物園



C-4
日本で2番目の動物園として開園。200種、900点の動物を飼育展示。日本初のライオン人工哺育、ローランドゴリラの人工繁殖に成功した。園内には動物図書館、遊戯施設、傷ついた野生鳥獣を治療・保護する「野生鳥獣救護センター」などの施設もある。
電話: 075-771-0210
時間: 9:00~17:00(12月~2月/9:00~16:30)
月曜、12/28~1/3休
料金: 500円

アクセス 地下鉄東西線東山駅

祇園界限



C-3
東は八坂神社、南は建仁寺、西は鴨川付近、北は新橋通の広い地域名。歌舞伎役者が一堂に会する「顔見世」で知られる日本最古の劇場、「南座」が有名。高級料亭や飲食店が建ち並び歓楽街である。芸妓や舞妓の姿も見ることができる。

アクセス 市バス祇園(京都駅前から#206, 100)

哲学の道



C-3
東山山麓の若王子神社から銀閣寺までの約2kmにわたる散歩道。哲学者の西田幾多郎が思索の場として散策したことから名づけられた。桜並木は日本画家橋本関雪夫人が寄贈したもので、春には関雪桜を、夏には夕暮れに飛びかう螢と、季節ごとの風情が楽しめる。

アクセス 市バス銀閣寺前または南禅寺・永観堂道(京都駅前から#5, 100)

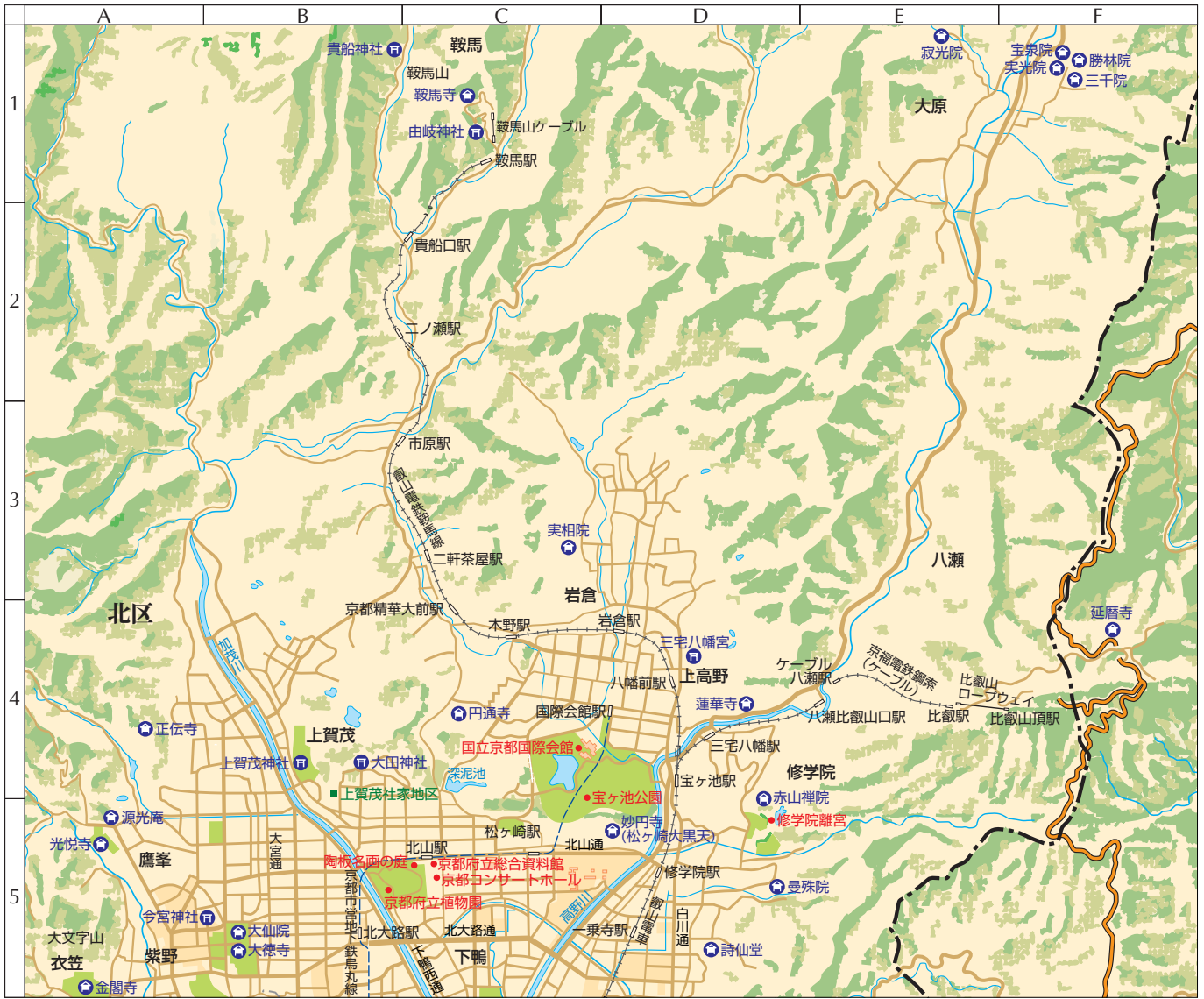
京都の
観光名所

洛北

RAKUHOKU AREA

- 修学院
- 大原
- 貴船・鞍馬
- 上賀茂
- 北山

市の北部、洛外の北一帯が洛北。豊かな自然を楽しみながら、風情あふれる史跡を観て回れる。山間部であるため、市の中心部より比較的気温が低く、夏は避暑地としても知られる。また北山通周辺は、京のモダンを代表するスポットとして注目されている。



洛北〈各観光名所の紹介〉

詩仙堂



D-5
徳川家康の家臣から詩人へと転じた石川丈山が1641年に造営し、31年間隠棲した山荘である。中心の詩仙の間に、狩野探幽の描いた中国の三十六詩仙の肖像に丈山が詩と讃を書き加えた額が掲げられている。庭園のししおどしの澄んだ音は大変風情がある。

電話: 075-781-2954
時間: 9:00~17:00 5/23休
料金: 500円

アクセス 市バス一乗寺下り松町
(京都駅前から#5〈岩倉操車場前〉)

曼珠院



D-5
比叡山西麓の風雅な木立の中に建つ寺。庭園は白砂で池泉を象徴する枯山水庭園で、洛北の景勝を巧みに取り入れた品位ある庭であり、国の名勝に指定。約1,200点の寺宝を持ち、中でも古今和歌集(国宝)は逸品。春は梅と椿が、秋は紅葉が美しい。

電話: 075-781-5010
時間: 9:00~17:00
料金: 500円

アクセス 市バス一乗寺清水町
(京都駅前から#5〈岩倉操車場前〉)

修学院離宮



D-5
1655年から1659年まで5年の歳月をかけて、後水尾上皇が造営した山荘。54万㎡の敷地は上、中、下御茶屋の3つの庭園から構成される。特に上御茶屋の庭園は日本屈指の名園で庭内の隣雲亭から臨む鞍馬山や愛宕山などの風景は素晴らしい。

電話: 075-211-1215(宮内庁京都事務所)
※要事前申込

アクセス 市バス修学院離宮道
(京都駅前から#5〈岩倉操車場前〉)

光悦寺



A-5
書道、陶芸などあらゆる才能に長けていた本阿弥光悦が徳川家康から拝領した土地に庵を建てたのが起こり。光悦は、一族工匠とともにこの地に移り住み、芸術村を形成したと伝えられる。境内には趣の異なる7つの茶室や光悦の墓などがある。紅葉の名所。

電話: 075-491-1399
時間: 8:00~17:00 11/10~13休
料金: 300円

アクセス 市バス鷹峰源光庵前
(地下鉄烏丸線北大路駅から#北1)

三千院



F-1
仏教の一派である天台宗の寺で、1118年に創建。本尊の木造阿彌陀如来像は両脇侍像とともに国の重要文化財。密生した苔と杉の老樹に囲まれた庭が美しい。裏の自然林には梅雨期には約3,000本もの紫陽花が美しく咲く紫陽花苑が広がる。

電話: 075-744-2531
時間: 8:30~16:30
(12~2月/8:30~16:00)
料金: 600円

アクセス 京都バス大原(京都駅前から#17,18)

寂光院



E-1
594年、聖徳太子の創建と伝わる。有名な「平家物語」に描かれた数々の史跡が残っている。門前は茶店などが並び賑やかだが、石段をのぼりつめると木立の中に本堂・書院がひっそりと建つ。境内は紅葉の名所として知られ、秋には多くの観光客が訪れる。

電話: 075-744-2545
時間: 9:00~17:00
(12~2月/9:00~16:30)
料金: 500円

アクセス 京都バス大原(京都駅前から#17,18)

貴船神社



B-1
水神を祀り、現在も農漁業、酒造業者らの信仰が厚い。水清く、老杉が繁る京の夏の避暑地。縁結び、縁切りの神社としても有名。水に浮かべると吉凶の文字がにじみ出る恋占い若い女性に人気がある。毎年7月7日には水の恵みを祈る「水まつり」が行われる。

電話: 075-741-2016
時間: 6:00~20:30(開門)
9:00~16:00(ご祈願)
料金: 境内自由(無料)

アクセス 叡山電鉄貴船口駅

鞍馬寺



C-1
天狗伝説で知られる寺。創建は770年で、都の鬼門守護の寺として信仰を集めた。境内には鞍馬山の動植物、鉱物などを展示する自然科学博物館展示室もある。老杉の生い茂る山道は、歴史をたどりながらハイキングが楽しめる。6月20日の竹伐り会式や10月22日に行われる火祭も有名。

電話: 075-741-2003
時間: 9:00~16:30(靈宝殿/9:00~16:00)
料金: 200円 靈宝殿/200円

アクセス 叡山電鉄鞍馬駅

洛 北〈各観光名所の紹介〉

大徳寺



B-5
創建は1319年。禅宗文化の中心地の一つ。豊臣秀吉が織田信長の葬儀を行った寺として知られる。国宝・重要文化財の建物が建つ大伽藍は、江戸初期の新改築による。21の塔頭があるが、拝観の事前申込が必要。茶室、庭園、襖絵など数多くの文化財を有している。

電話: 075-491-0019
時間: 9:00~16:30
料金: 境内自由(無料)
大仙院/400円、龍源院/350円
瑞峰院/400円、高桐院/400円

アクセス 市バス大徳寺前(京都駅前から#206、101)

上賀茂神社



B-4
世界文化遺産。総面積は背後の山を合わせて約66万4,000㎡、34の社殿は全て国の重要文化財に指定されている。現在の本殿は1863年の再建。5月15日に行われる葵祭の行列はここをめぐってやってくる。競馬会神事(5月5日)や鳥相撲(9月9日)などの神事も有名。

電話: 075-781-0011
料金: 境内自由(無料)

アクセス 市バス上賀茂御園橋(京都駅前から#9)

上賀茂社家町地区



B-4
上賀茂神社から流れる明神川沿いに神宮の屋敷、社家が立ち並び、静かな町並み。家ごとに橋がかかり、川の水を屋敷内に引き入れて邸内に池を設けたり、神事を行う前に身を清める水として用いる。錦部家旧宅(西村家別邸)は一般に公開されている。

アクセス 市バス上賀茂御園橋(京都駅前から#9)

北山通り



C.D-5
鴨川北山大橋から東へ、植物園やコンサートホールなどが並ぶこの通りは、並木の美しい洗練された町並みが美しく、洒落たレストランやカフェ、ブティックが軒を並べる京都一のファッションストリート。オブジェのような建物も多く、建築物を見て、散歩するだけでも楽しい。

アクセス 地下鉄烏丸線北山駅

宝ヶ池公園



C-4
干害用地・宝ヶ池を中心に自然林と芝生が美しい京都市最大の公園。遊歩道や広場が設けられ、休日ともなれば家族連れやカップルで賑わう。池畔には国際交流と親善をはかる国立京都国際会館が建つ。日本の伝統建築である合掌造りの様式を現代建築に生かしたユニークな建物で、1997年12月には地球温暖化防止条約締結国会議が開催された。

アクセス 地下鉄烏丸線国際会館駅

京都コンサートホール



C-5
奇抜で斬新なデザインの建築。1,800人収容の大ホールは靴箱と呼ばれる特有の形状を採用し、国内最大級のドイツ製パイプオルガンを設置している。小ホールは、小編成オーケストラやピアノ、室内楽の演奏、講演などに最適。館内には欧風レストランも併設されている。

電話: 075-711-2244
時間: 9:00~22:00
第1・第3月曜休

アクセス 地下鉄烏丸線北山駅

京都府立植物園



B-5
日本で最初に開園した本格的公立植物園。24万㎡の敷地には、1万2,000種12万本を越す植物が植えられ、洋風庭園や日本各地の山野に自生する植物を集めた植物生態園、国内最大級の観覧温室がある。大芝生地では、弁当を広げる家族連れやカップルを多く見かける。

電話: 075-701-0141
時間: 9:00~17:00(入園は16:00まで)
温室/10:00~16:00(入室は15:30まで)
料金: 200円(温室別途200円)

アクセス 地下鉄烏丸線北山駅

陶板名画の庭



B-5
「国際花と緑の博覧会」に出展された陶板画が府に寄贈されたのが開設のきっかけ。陶板画されたミケランジェロの『最後の審判』やモネの『睡蓮』などの世界的に有名な名画を題材にした作品8点が展示。現代建築家として名高い安藤忠雄氏設計の建物も見物である。

電話: 075-724-2188
時間: 9:00~17:00
料金: 100円

アクセス 地下鉄烏丸線北山駅

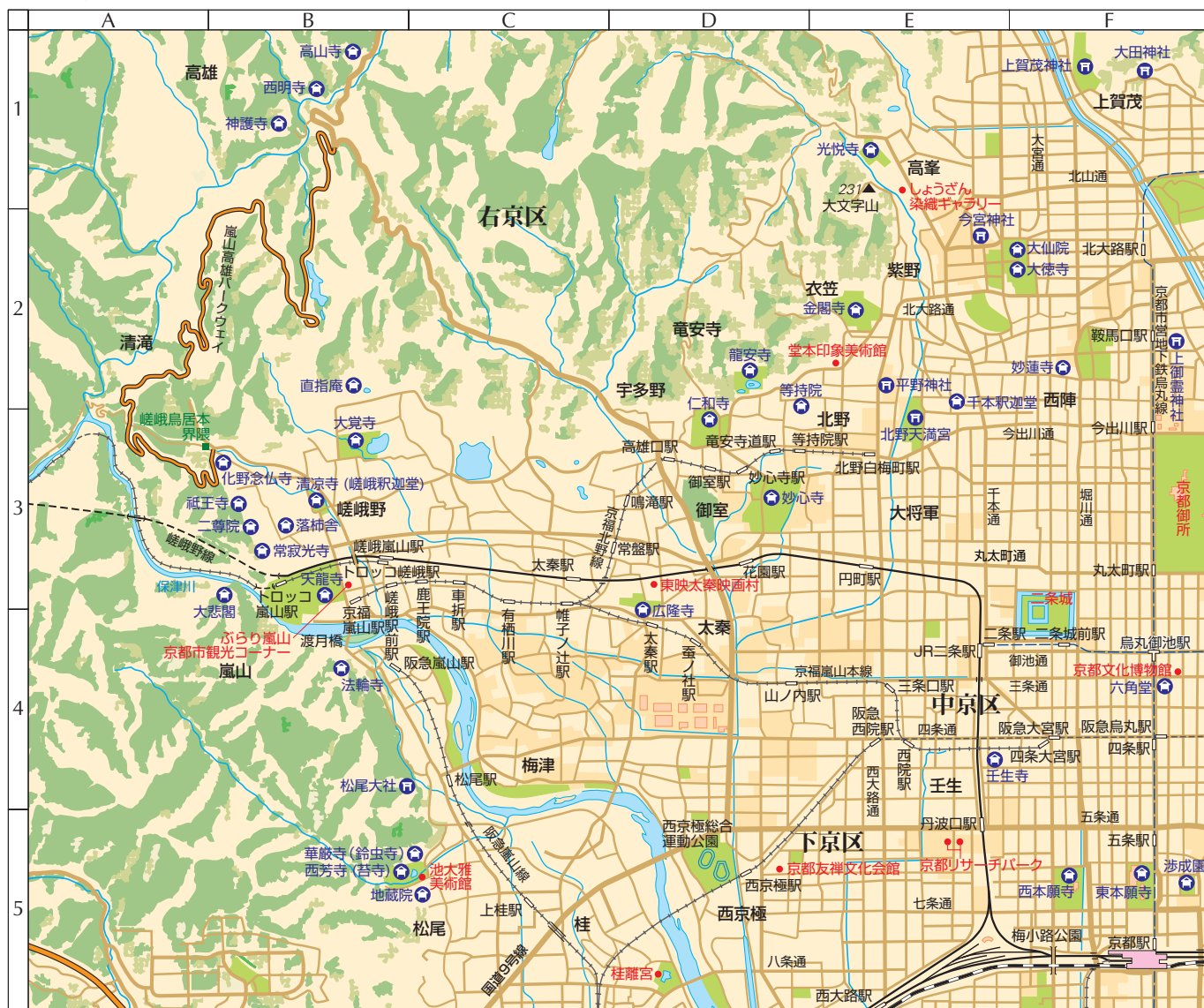
京都の
観光名所

洛西

RAKUSAI AREA

- 御室
- 金閣寺
- 嵐山
- 嵯峨野
- 太秦

高雄山や衣笠山、小倉山など和歌に詠まれた山々を背景にしている洛西。古くから寺社仏閣が集まり、それぞれの趣向を凝らした美しい庭園を見ることができる。嵐山・嵯峨野一带は京都を代表する観光地で、四季を通じて、多くの人々が訪れる。



洛 西〈各観光名所の紹介〉

金閣寺



E-2
世界文化遺産。1397年、将軍足利義満が建てた山荘を禅寺にした。正式名は鹿苑寺。1950年、放火により焼け、1955年に再建。鏡湖池に華麗な影を映す金閣は、京都を代表する風景である。庭園は国の特別史跡・特別名勝に指定。萩の遣い棚と南天の床柱で有名な茶室夕佳亭もある。

電話: 075-461-0013
時間: 9:00~17:00
料金: 400円

アクセス 市バス金閣寺道(京都駅から#205、地下鉄東西線三条駅前から#59)

龍安寺



D-2
世界文化遺産。1450年細川勝元が開いた禅寺。東西の長い長方形の庭に白砂を敷き、大小15の石を配した枯山水の石庭が有名。15の石は、どこから見ても1つは必ず隠れて見えない。完全でなくても足を知る禅の教えを示し、見る人の思想や心情により様々な解釈される。

電話: 075-463-2216
時間: 8:00~17:00
(12~2月/8:30~16:30)
料金: 500円

アクセス 市バス立命館大学前(京都駅から#50)

仁和寺



D-3
世界文化遺産。886年、光孝天皇の勅願により創建、888年に完成。「御室御所」と呼ばれる門跡寺院である。広い境内には重要文化財に指定される五重塔や国宝の金堂が立ち並び、御室桜と呼ばれる200本の桜は樹高2mほどで京都一の遅咲き桜として有名。4月下旬が見頃。

電話: 075-461-1155
時間: 御殿/9:00~16:30
料金: 境内自由(無料)
御殿/500円、霊宝館/500円

アクセス 市バス御室仁和寺(京都駅から#26)

妙心寺



D-3
南北500m、東西400mにも及び広大な寺域を占めるこの寺は、1342年、花園上皇が離宮を禅寺に改めたのに始まる。47の塔頭のうち常時公開されているのは、3院のみ。どこから見てもにらまれているように見える狩野探幽作の「八方にらみの籠」も有名。

電話: 075-461-5226
時間: 御殿/9:10~16:00(院により異なる)
料金: 400円、退蔵院・桂春院/400円、大心院/300円
東林院/1,500円~(1/8~1/31、6/12~6/30のみ拝観可能、抹茶・菓子付)

アクセス 市バス妙心寺北門前(京都駅から#26)

天龍寺



B-3
世界文化遺産。将軍足利尊氏が後醍醐天皇供養のために、1339年に創建した禅寺。8度に及ぶ火災を逃れた庭園は、国の特別史跡第1号。亀山、嵐山を借景とする、貴族文化の優雅さと禅風の幽邃さをあわせ持つ名庭。方丈の天井に描かれた鈴木松年筆の雲龍図も見事。

電話: 075-881-1235
時間: 8:30~17:30
(10/21~3/20/8:30~17:00)
料金: 600円(堂内拝観含む、庭園のみは500円)

アクセス 市バス嵐山天竜寺前(京都駅から#28)

常寂光寺



B-3
小倉山のふもとにあり、仏の理想世界「常寂光土」の趣を漂わせることから名づけられた。高さ約12mの多宝塔は重要文化財に指定されており、ここからは嵯峨野から東山までが一望できる。京都屈指の紅葉の名所で特に散り紅葉の美しさで名高い。

電話: 075-861-0435
時間: 9:00~17:00
料金: 300円

アクセス 市バス嵯峨小学校前(京都駅から#28)

化野念仏寺(あたしのねんぶつ)



B-3
この地は無名の人々の風葬の場であった。これら無縁仏のために空海が如来寺を建てて供養したのが始まり。後に法然が念仏道場として今の寺名に改めた。境内8,000体の石仏・石塔群は、化野に葬られた人たちの墓で、毎年8月23日・24日には幻想的な「千灯供養」が行われる。

電話: 075-861-2221
時間: 9:00~17:30
(3月、6~9月/9:00~17:00、
12~2月/9:30~16:00)
料金: 500円

アクセス 市バス嵯峨釈迦堂前(京都駅から#28)

大覚寺



B-3
876年、嵯峨天皇の離宮跡を寺に改めた。歴代法親王が住持された門跡寺院で嵯峨御所といわれた。境内東にある大沢池は中国の洞庭湖を模して造られた池泉船式庭園の遺構であり、日本最古の庭園池の一つ。観月の名所。秋には300年の歴史を持つ嵯峨菊が見物。

電話: 075-871-0071
時間: 9:00~16:30
料金: 500円

アクセス 市バス大覚寺前(京都駅から#28)

洛 西〈各観光名所の紹介〉

嵯峨鳥居本界限



B-3
小倉山北麓から清滝付近にかけての地域。化野念仏寺への参道より東側には瓦葺の建物、西側には茅葺の農家風の建物が並ぶ。1979年には地域の約50戸が「伝統的建造物群保存地区」に指定。大文字五山送り火の一つ鳥居形は当地区の人々が8月16日に点火する。

アクセス 市バス嵯峨釈迦堂前(京都駅から#28)

神護寺



B-1
809年から14年間空海が住持。和気清麻呂が建てた寺。国宝であり無病息災のご利益があるという本尊の薬師如来像をはじめ、密教作品も多くある。鐘楼の梵鐘は日本三名鐘(形の平等院、音色の三井寺)のひとつ。地藏院では厄除けの“かわら投げ”ができる。

電話: 075-861-1769
時間: 9:00~16:00
料金: 400円

アクセス 市バス高雄(地下鉄烏丸線四条駅前から#8)

高山寺



B-1
世界文化遺産。774年に開創。1万点あまりの寺宝のうち国宝が7点、重要文化財1,500点が含まれる。中でも兎と蛙の相撲の絵で知られる鳥獣人物戯画は有名。実物は非公開だが、模写を見られる。境内には日本最古といわれる茶園があり、現在でも秋に献茶式が行われる。

電話: 075-861-4204
時間: 9:00~17:00
料金: 10~11月/400円
石水院/600円

アクセス 市バス高雄(地下鉄烏丸線四条駅前から#8)

落柿舎(らくししゃ)



B-3
俳人で有名な松尾芭蕉の門下、向井去来の住居跡。ある商人が庭の柿の買い入れを決めて代金を置いていった夜、一夜のうちに実が落ちたという話から名づけられた。俳句の投稿箱が備えてあり、毎月優秀作品を選んでいる。庭に句碑、裏の墓地には去来の墓がある。

電話: 075-881-1953
時間: 9:00~17:00
(1~2月/10:00~16:00)
料金: 150円

アクセス 市バス嵯峨小学校前(京都駅から#28)

西芳寺(苔寺)



C-5
世界文化遺産。行基が開創。1339年、夢窓疎石が禅の道場を改めた。庭園一面を120余種の苔が覆うことから「苔寺」と呼ばれる。庭園は日本でも特に古いものとされ、心の字をかたどる黄金池をかこむ池泉回遊式庭園。参拝(写経・座禅・法話)は事前に申し込みが必要。

電話: 075-391-3631
※要事前申込(冥加料3,000円)

アクセス 市バス苔寺道(地下鉄烏丸線四条駅前から#29)

桂離宮



D-5
庭園と日本建築の総合作品として世界的に有名。1620年に造営が着手され、35年の歳月を経て完成した。約5万6,000㎡の敷地を誇る桂離宮庭園。笹垣で囲った庭園には大小の島が浮かんだ池を中心に、書院や茶亭が立ち並び、奥深い整然とした趣がある。

電話: 075-211-1215(宮内庁京都事務所)
※要事前申込

アクセス 市バス桂離宮前(京都駅から#33)

トロッコ列車



B-3
JR山陰線嵯峨嵐山と亀岡馬堀間の旧線を利用したもので、桜、新緑、紅葉など保津川の渓谷美を堪能できる。片道25分。1日8往復。保津川下りとのコースも人気。

電話: 075-861-7444
運休日: 12/30~2月末日並びに3/1~3/24、
4/8~4/28、5/6~7/20、9/1~10/14、
12/1~29の水曜日
料金: 600円(片道)

アクセス JR山陰本線嵯峨嵐山駅

東映太秦映画村



D-3
時代劇映画のオープンセットが建ち並び、毎日のように撮影が行われる、映画のテーマパーク。日本映画の変遷、映画作りのすべてが分かる映画文化館、日本初登場の動く映画館など魅力的な施設がたくさんある。また30種以上の時代装束を着ることもできる。

電話: 075-864-7716
時間: 9:00~17:00(12月~2月/9:30~16:00)
12/27~12/31休(2004年)
料金: 2,200円

アクセス 市バス太秦映画村道(京都駅から#75)

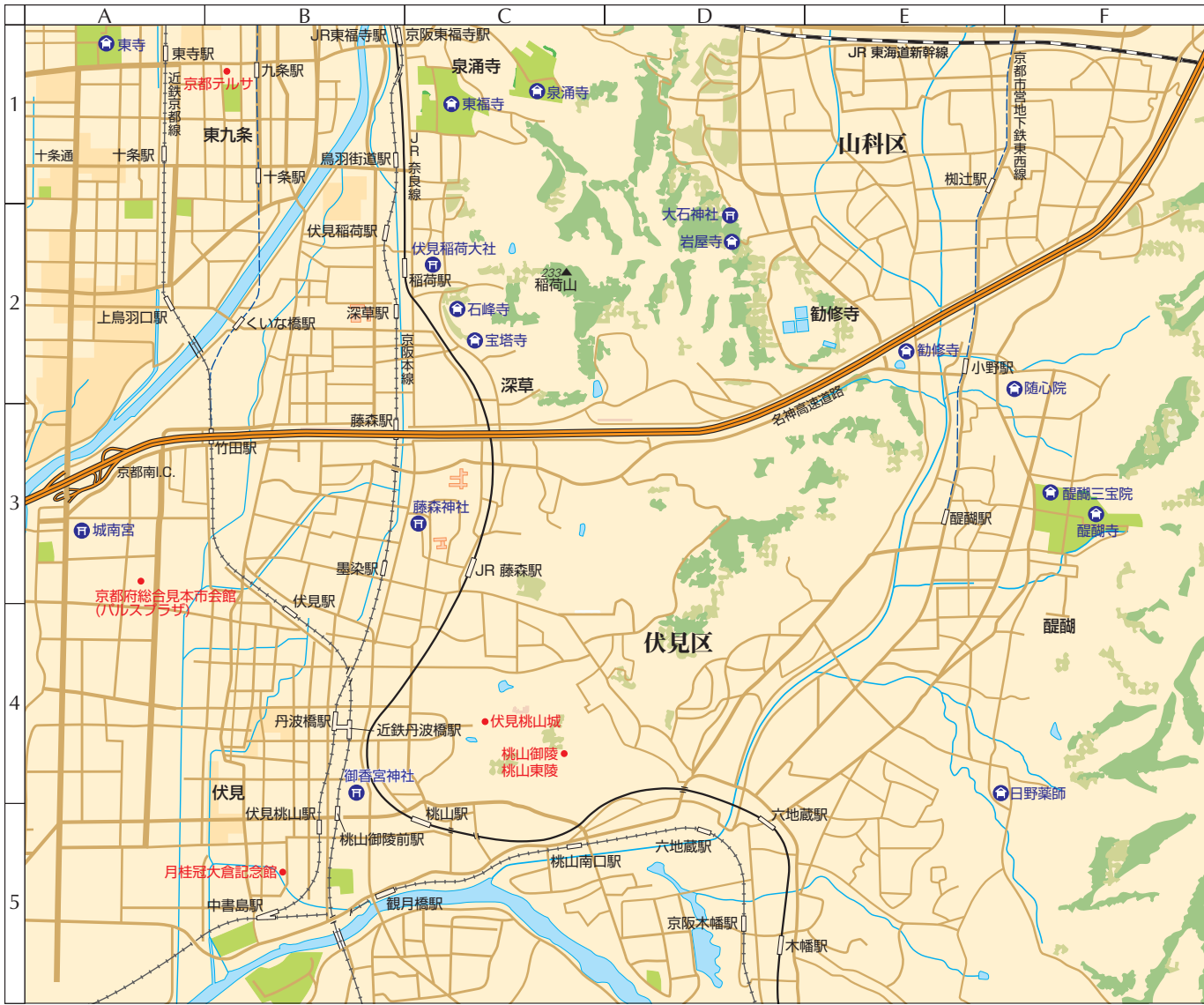
京都の
観光名所

洛南

RAKUNAN AREA

- 東福寺
- 泉涌寺
- 伏見稲荷大社
- 醍醐
- 勧修寺

滋賀、奈良と京都を結ぶ街道上に位置するこのエリアはかなり早くから開けた所。京の東の玄関口、山科・醍醐。酒造りの街で知られる伏見。城下町として栄えた桃山など、それぞれに違った風情を楽しむことができる。



洛 南〈各観光名所の紹介〉

東福寺



C-1
1239年に創建。敷地面積は20万㎡で、京都でも最大な禅寺。境内の通天橋は紅葉の名所。現存最古の三門をはじめ国の重要文化財の諸堂が立ち並び25の塔頭を従える。また三門の西にある東司は日本で唯一の重要文化財に指定される便所である。

電話: 075-561-0087

時間: 9:00~16:00

料金: 境内自由(無料)

方丈庭園・通天閣/各400円、雲雲院/300円、
芬陀院/300円、同聚院/200円

アクセス 市バス東福寺(京都駅前から#208)

勸修寺



E-2
900年、醍醐天皇が生母の菩提を弔うために建立。睡蓮の名所として知られる氷室池を中心とした庭園は、池中に大小の島を配した池泉回遊式で、雅やかな風情を醸す。初夏にはハス、ツツジ、フジ、シヨウブが咲きみだれ、優雅な風景を楽しめる。

電話: 075-571-0048

時間: 9:00~16:00

料金: 400円

アクセス 地下鉄東西線小野駅

泉涌寺(せんいゅうじ)



C-1
皇室との関連が深く、「御寺」とも呼ばれる。創建当初は法輪寺と称されたが、1218年、宋から帰朝した月輪大師が造営するにあたり、清泉が湧き出たことから泉涌寺に改められた。観音堂には唐の玄宗皇帝自身が作らせたと伝える楊貴妃観音が祀られる。

電話: 075-561-1551

時間: 9:00~16:30

(12~2月/9:00~16:00)

料金: 300円

アクセス 市バス泉涌寺道(京都駅前から#208)

随心院



F-2
美人の代名詞、小野小町の住居跡として知られ、1,000通の恋文を埋めた文塚やその恋文で作られた文張りの地蔵、化粧井戸など、小町ゆかりの遺構が残る。梅の名所としても知られ、遅咲きの梅が開花する3月下旬の日曜には「観梅はねず踊り」が開催される。

電話: 075-571-0025

時間: 9:00~16:30

料金: 400円

アクセス 地下鉄東西線小野駅

伏見稲荷大社



C-2
全国3万を数える稲荷社の総本山。市内でも最古の神社の一つである。五穀豊穡・商売繁盛の神様として知られ、正月や毎月1日は特に賑わう。本殿や鳥居の朱は美りの秋を色で表現したもの。稲荷山山頂まで「千本鳥居」と呼ばれる鳥居のトンネルが続いている。

電話: 075-641-7331

料金: 境内自由(無料)

アクセス 京阪電車伏見稲荷駅、JR奈良線稲荷駅

城南宮



A-3
古くから方除けの神として信仰を集めている。平安、室町、桃山、現代と4つの時代を表した庭園、楽水苑では、曲水に沿って歌人が座り、自分の杯が目の前を流れすぎずのまに歌を詠むという「曲水の宴」が、毎年春と秋の2回行われる。

電話: 075-623-0846

時間: 楽水苑/9:00~16:30

料金: 境内自由(無料)

楽水苑/400円

アクセス 地下鉄丸線竹田駅
市バス城南宮(京都駅前から#19)

醍醐寺



F-3
世界文化遺産。874年に創建。京都府下最古の木造建築である五重塔をはじめ多くの国宝・重要文化財を所有する。1598年、豊臣秀吉が盛大な花見の宴を催したことから、毎年4月第2日曜にはその時代を再現する豪華な行列が境内を練り歩く、「太閤花見行列」は見応えがある。

電話: 075-571-0002

時間: 三宝院/9:00~17:00

(12~2月/9:00~16:00)

料金: 境内自由(無料)

三宝院/600円

アクセス 地下鉄東西線醍醐駅

伏見酒蔵



B-5
柳腰に白壁の酒蔵が立ち並び風情ある町並みは酒どころ、伏見の代表的な景観の一つ。新京都市百景にも指定されており、川沿いの遊歩道から眺める風景は格別である。坂本龍馬ゆかりの寺田屋や月桂冠大倉記念館など観光施設も充実している。

アクセス 市バス中書島(京都駅前から#81)

美術館・博物館

京都市美術館



1928年、日本で2番目の大規模美術館として設立。レンガ造りの西洋建築が美しい。国内や海外の主な特別展の開催や現代作家の展覧会の場を提供している。近代日本美術、特に京都関係の作品を中心に彫刻、工芸など約1,400点を所蔵している。

電話: 075-771-4107
時間: 9:00~17:00 月曜休
料金: 常設展/400円

アクセス 地下鉄東西線東山駅
市バス京都会場・美術館前(京都駅前から#5,100)

京都伝統産業ふれあい館



京都市勤業館(みやこめっせ)の地下1階にあり、66品目もの伝統工芸品を一堂に展示。映像、パソコン探索、図書館などにより匠の技が体系的に紹介され、伝統産業とのふれあいを満喫できる。

電話: 075-762-2670
時間: 9:00~17:00 月曜休
料金: 無料

アクセス 地下鉄東西線東山駅
市バス京都会場・美術館前(京都駅前から#5,100)

茶道資料館

日本の伝統文化の1つ、「茶道」のさらなる普及を図るために、1979年、裏千家15世鵬雲斎千宗室の発案により設置。年4回、様々な角度から茶道を見た企画展を催し、茶碗、花入、掛物など茶道具の名品や歴史的な文書を公開している。

電話: 075-431-6474
時間: 9:30~16:30 月曜、展示替期間中休
料金: 500円、特別展/800円

アクセス 地下鉄烏丸線鞍馬口駅

いけばな資料館

生け花発祥の地、六角堂の境内に建つ、池坊ビル3階に1976年に開設。華道家元池坊伝来の口伝書などの古文書を中心に500余年の歴史を持つ華道資料が常時展示。花器、屏風、軸物なども陳列される。事前予約をお忘れなく。

電話: 075-221-2686
時間: 9:00~16:00
土・日曜、祝日、年末年始休
料金: 無料(要予約)

アクセス 地下鉄烏丸線烏丸御池駅

池大雅美術館

1959年に開館したこの美術館は、17世紀中期に活躍した文人画家、池大雅の幼年期から晩年期に至るまでの遺墨や遺品など約50点を常設展示。館蔵品はすべて創設者、初代館長の故佐々木米行氏が収集したもので、「柳下童子の図(屏風)」は重要文化財に指定。

電話: 075-381-2832
時間: 10:00~16:30 水曜休
料金: 500円

アクセス 市バス苔寺道
(地下鉄烏丸線四条駅前から#29)

何必館(京都現代美術館)

学問でも芸術でも定説にいじられると自由を失う。その定説を「何ぞ必ずしも」と疑う精神こそが美術ではないか、との思いから「何必館」と名づけられた。村上華岳や山口薫の作品を見ることが出来、茶室や光庭も設置されている。

電話: 075-525-1311
時間: 10:00~17:00 月曜休
料金: 1,000円

アクセス 市バス祇園(京都駅前から#206,100)

このページに記載されている場所の地図はカラーで色分けされています。場所と同じ色を右の表から選んで、該当する地図ページをご覧ください。

洛中	P.10-11	洛西	P.28-29
洛東	P.16-17	洛南	P.34-35
洛北	P.22-23		

京都国立博物館



赤レンガづくりの特別展示館は1895年の建築で重要文化財に指定。日本、中国を中心に東洋の考古資料と古美術を収蔵している。京都の多くの寺院から寄託を受けての平常展も開催。有名寺院の寺宝を一度に見ることができる。噴水や彫像などの配された庭園も美しい。

電話: 075-525-2473
時間: 9:30~17:00 月曜休
料金: 平常展/420円

アクセス 市バス博物館三十三間堂前
(京都駅前から#206,208,100)

京都国立近代美術館



1963年、東京国立近代美術館の京都分館として開設。地上4階、地下1階のモダンな建物は1986年に全面改装。常設展のほか、近代日本画家や海外の巨匠の作品展、デザインや写真の展覧会など、年7~8回企画展覧会が行われる。4~10月は金曜日の夜間開館。

電話: 075-761-4111
時間: 9:30~17:00 月曜休
料金: 常設展/420円

アクセス 地下鉄東西線東山駅
市バス京都会場・美術館前(京都駅前から#5,100)

細見美術館

美術コレクター、細見古香庵にはじまる。細見家が3代にわたって収集した日本美術の名品の数々を展示、公開する美術館。重要文化財数十点を含む、絵画、彫刻、工芸などの収蔵品、約100点のうち約60点ずつをテーマごとに入れ替えて展示している。

電話: 075-752-5555
時間: 10:00~18:00 月曜休
料金: 700円

アクセス 地下鉄東西線東山駅

泉屋博古館(せんおくはくこく)

1960年、住友家収集の中国古銅器約600点の寄贈を受けて設立された美術館。中国の書画類、茶道具、工芸品、鏡鑑類など、東洋美術品を数多く所蔵する。古代中国の研究においてもその功績は大きく、世界的にも有名。現収蔵品は総数約1,700点にのぼる。

電話: 075-771-6411
時間: 3~6月と9~11月/10:00~16:00
月曜・祝日休
料金: 700円

アクセス 市バス東天王町(京都駅前から#5,100)

白沙村荘(橋本関雪記念館)

日本画家、橋本関雪の旧宅、白沙村荘と庭園、同画伯の作品とコレクションを公開。自身の設計による庭園には数々の石造美術や茶室、重要文化財の地藏菩薩立像を安置する持仏堂が散在。関雪の芸術に触れた後は庭を眺めながら抹茶を楽しむこともできる。

電話: 075-751-0446
時間: 10:00~17:00
料金: 800円

アクセス 市バス銀閣寺道(京都駅前から#5,100)

野村美術館

野村証券、大和銀行などの創業者、野村徳七のコレクション。南禅寺の北門を出たところに位置し、地上2階、地下1階の茶室風の建物には、茶道具を中心に絵画、掛軸、能装束など約1,300点を収蔵、展示している。開館は春と秋の3ヶ月づつ。

電話: 075-751-0374
時間: 10:00~16:30 月曜休(夏・冬期は閉館)
料金: 700円

アクセス 市バス南禅寺・永観堂道
(京都駅前から#5)

美術館・博物館

京都府京都文化博物館

D-3



京都の文化や伝統を総合的に紹介する博物館。赤レンガの別館は旧日本銀行京都支店で重要文化財に指定される。本館には展示室や閲覧室、映像ホールのほか、京の町並みを再現した「ろうじ老舗」があり、ここで食事や買い物を楽しめる。

電話: 075-222-0888
時間: 10:00~19:30 月曜休
料金: 常設展/500円

アクセス 地下鉄烏丸線烏丸御池駅

京都府立堂本印象美術館

B-1



文化勲章受賞の京都の近代日本画家、堂本印象の作品を展示する。仏教的主題による抽象絵画をはじめ陶鉢、彫刻など約2,200点を所蔵。白い抽象的な図柄の浮き彫りが壁面を飾るユニークな3階建ての建物も印象自身の設計による。280点あまりが常設展示されている。

電話: 075-463-0007
時間: 9:30~17:00 月曜休
料金: 500円

アクセス 市バス立命館大学前(京都駅前から#50)

河井寛次郎記念館

B-5

陶芸家、河井寛次郎が自ら設計した生前の住居を陳列室に改造した記念館。日本の建築美を生かした落ち着いたたたずまいは外国人に人気。陶器・木彫り・書などの作品のほかに、彼が実際に制作に打ち込んだ陶房と登り窯も見る事ができる。

電話: 075-561-3585
時間: 10:00~17:00 月曜休
料金: 900円

アクセス 市バス五条坂(京都駅前から#206、100)

近藤悠三記念館

C-5

染付の巨匠と呼ばれた陶芸家近藤悠三の亡き後、自宅に展示館を設け、作品を公開。中でも直径126.6cm、重さ100kgの「梅染付大皿」は見もの。展示室の奥には作陶場が再現され、氏が使っていたろくろや絵筆が当時の風景をよみがえらせる。

電話: 075-561-2917
時間: 10:00~17:00 水曜休
料金: 500円

アクセス 市バス五条坂(京都駅前から#206、100)

相国寺承天閣美術館

A-1

足利義満が創建した禅院、相国寺の創建600年を記念して開館。広々とした館内に展示室、収蔵庫、120畳敷の講堂、資料図書室、茶室が配されている。相国寺伝来の寺宝や金閣寺、銀閣寺などから寄せられた収蔵物は国宝4点、重要文化財111点を数える。

電話: 075-241-0423
時間: 10:00~17:00 展示替期間中、年末年始休
料金: 600円

アクセス 地下鉄烏丸線今出川駅

楽美術館

C-2

楽焼とはろくろを用いず、手とヘラで形を作り、低温で焼いた陶器で、茶道に使用される焼き物。初代長次郎以来、400余年にわたる楽家歴代の茶碗や文献資料、書簡など所蔵品は約1,000点。茶室では、楽茶碗を手にとって鑑賞することもできる。

電話: 075-414-0304
時間: 10:00~16:30 月曜休
料金: 800円

アクセス 地下鉄烏丸線今出川駅
市バス堀川中立売(京都駅前から#9)

京都大学総合博物館

E-2



京都大学が開学以来100年以上にわたり収集してきた貴重な学術標本資料250万点を収蔵し、第一線の研究・教育活動に活用し、その成果の公開を目的とした日本最大規模の大学博物館。

電話: 075-753-3272
時間: 9:30~16:30 月曜・火曜、年末年始休
料金: 400円

アクセス 市バス百万遍(京都駅から#206)

京都市嵯峨鳥居本町並み保存館

B-3



保存館のある嵯峨鳥居本地区は、17世紀頃から愛宕神社の門前町として発達し、周辺の美しい自然を背景に茅葺や瓦葺の伝統的な民家が今も並んでいる。保存館は、明治初期の民家を復元的に整備したもので、内部も当時の様子を今に伝えている。

電話: 075-864-2406
時間: 10:00~16:00 月曜休
料金: 無料

アクセス 市バス嵯峨駅迎堂前(京都駅前から#28)

キンピョウ・堀野記念館

B-3

伝統的な日本家屋を改造した、造り酒屋の歴史と町屋文化を伝える記念館。酒造メーカー、キンピョウ創業以来、210余年、淡麗な酒を生み出してきた名水「桃の井」や、日本酒、大麦酒の飲みくらべもできる。館内には、京の名産品を販売するコーナーも設置。

電話: 075-223-2072
時間: 11:00~17:00 月曜、年末年始休
料金: 300円

アクセス 地下鉄烏丸線丸太町駅

月桂冠・大倉記念館

B-5

1637年創業の(株)月桂冠が350周年の記念事業として酒造りの資料館を開設。酒造の道具約400点の展示物を中心に酒造りの歴史や工程を分かりやすく紹介する。見学後には珍しい酒を飲むことができる。限定販売の酒を土産に買い求める人も多い。

電話: 075-623-2056
時間: 9:30~16:30 月曜、年末年始休
料金: 300円

アクセス 市バス中書島(京都駅前から#81)

京都市学校歴史博物館

D-4

旧開智小学校跡を使って、130年にわたる京都の学校教育と、小学校の歴史を集められた8,000点を超える資料と所蔵品と紹介。

電話: 075-344-1305
時間: 9:00~17:00
水曜休 12/28~1/4休
料金: 200円

アクセス 地下鉄烏丸線四条駅

梅小路蒸気機関車館

C-5

鉄道開通100周年を記念して設けられたSL博物館。館内には1914年から1948年に製造され、1972年まで日本各地で活躍した代表的なSL17両が保存・展示されている。1日3回、展示運転も行われ、子供も大人も楽しめる。

電話: 075-314-2996
時間: 9:30~17:00 月曜休
料金: 400円

アクセス 市バス梅小路公園前

文化体験 〈各施設の紹介〉

1200年もの長い歴史を誇る京都。ここには長い年月を経て培われた職人の技が冴える、約70種の伝統工芸品が伝えられている。



清水焼

1600年代、野々村仁清が東山区の清水周辺で、優雅で華麗な色絵陶器を創始したことに始まる。優れた意匠力と多彩な技術は、国内に限らず海外でも有名。

友禪染

「花鳥風月」などの複雑な模様と多彩な色を駆使した京呉服の代表。伝統的な手加工による「手描友禪」と型紙を用いる「型友禪」に大別される。

西陣織

豪華な絹織物として名高い西陣織は、友禪染と並ぶ京都の染織製品。先に染色した糸を使って模様を織り出す先染の紋織物で、帯を中心とする和装品に用いられる。

草木染

藍、紅花、茜など天然の植物染料で染める草木染。自然の恵みを利用した絶妙な色合い、優しい風合いは草木染ならではの。

京扇子

昔から、招涼用というより、貴族社会の地位のシンボルや礼式時の装飾物として用いられてきた。製造はすべて手仕事で、その工程は30にも及ぶ。

京象嵌

金属の地金に細かい節目を彫り、金銀箔などをはめ込んで模様を作る細工。ペンダント、ブローチなどの装飾具、室内装飾品などに用いられる。

伝統の技にチャレンジしてみて、一味違った京都の旅を楽しんでみるのはいかが。きっと、素敵な旅の思い出になることだろう。



京組紐

7世紀以後、武士や貴族の装束、武具、仏具などに使われた紐。染色糸の束を数束斜めに交差して組む。現代では、帯締め、羽織紐などの和装飾として用いられる。

京和紙

宮廷、寺院が多くある京都は古くから紙の消費地であり、和紙作りが盛んだった。楮、三椏、雁皮など植物の繊維が素材。黒谷和紙が特に有名。

七宝焼き

金属にガラス質の釉薬を焼きつけ模様に出す工芸品。主としてアクセサリーに用いられる。

京仏壇・仏具

仏教文化の中心地であった京都は、現在でも高度な技術を集約した、手作りによる最高級の仏壇・仏具を生産している。

座禅

両足を組んで座り、雑念をはらって悟りの境地を得ようとする修行法。静かな庭を眺めながらの座禅で、日頃味わえない、ゆったりとした時間の流れを感じたい。

清水焼絵付体験

コトブキ陶春

F-5

清水焼団地内にあり、清水焼見学コースの施設として知られる。館内には、清水焼の製作工程の見学や作品展示、即売コーナーがある。陶芸教室では、素焼きの湯呑、マグカップなどに絵付けができる。約2週間で手元に届く。1名から750名まで受付可能。

所在地: 山科区川田清水焼団地7-2
電話: 075-581-7195
予約: 団体要
時間: 9:00~17:00
12~2月の日曜・祝日、年末年始休

アクセス: 京阪バス清水団地
(地下鉄東西線山科駅前から#29)

友禪染体験

古代友禪苑

C-4

1階は古典衣装や古扇などを展示する京友禪美術館。2回は展示即売場、3階は手描きで友禪の実演・見学。手作り教室では、ハンカチなどが自分で染められる。所要時間約40分。別棟の友禪屋敷では、襖や壁に飾られた友禪を眺めながら、抹茶を飲むこともできる。

所在地: 下京区高辻西入
電話: 075-823-0500
予約: 団体要
時間: 9:00~17:00 年末休

アクセス: 市バス堀川松原
(京都駅前から#9, 28)

友禪染体験

京都友禪文化会館

D-5

京友禪の全容を展示、見学、体験、映画、資料によって知れる。館内の工房では、手描き友禪と型友禪の工程実演を見学。友禪ながし(水で染料を洗い流す「水洗」の工程)の様子も見られる。体験コーナーでは型紙を使って、ハンカチを染めることができる。

所在地: 右京区西京極豆田町6
電話: 075-311-0025
予約: 団体要
時間: 9:00~17:00 日曜、年末年始休

アクセス: 市バス中ノ橋五条
(京都駅前から#73)

友禪染体験

しょうざん染織ギャラリー

E-1

洛北・鷹峯に広がる文化&レジャー施設。35,000坪の敷地内にある染織ギャラリーでは、着物の製作工程を公開。友禪染体験が出来、オリジナルのハンカチやランチョンマットが作れる。染屋は、手織りの実演を実施。草木染の体験もできる。

所在地: 北区衣笠鐘石町47
電話: 075-491-5101
予約: 要
時間: 9:00~16:00 年末年始休

アクセス: 市バス土井町
(地下鉄烏丸線北大路駅から#北1)

友禪染体験

丸益西村屋

C-3

創業以来90余年の間、京友禪型絵染工房として、友禪染の技法を伝承。暖簾、風呂敷、着物、型紙などを展示している。工房内には、体験コーナーを設置。ハンカチや、テーブルセンター、Tシャツなどの友禪染を体験できる。

所在地: 中京区小川通御池降ル壺屋町457
電話: 075-211-3273
予約: 団体要
時間: 9:00~17:00 年末年始休

アクセス: 地下鉄東西線二条城前駅

友禪染体験

染工房夢ゆうさい

D-4

四季折々の花で飾られた、風情ある町屋。染色作家、奥田祐斎の作品を展示し、体験教室として、ハンカチ、足袋などを工房独自の古代染とワンポイント染で染め上げた作品が作れる。京都の家庭の味を楽しむこともできる。

所在地: 下京区新町通仏光寺上ル船鉾町403
電話: 075-344-6530
予約: 要
時間: 10:00~16:00
第2・第4土曜、日曜、祝日休

アクセス: 地下鉄烏丸線四条駅

友禅染体験

京都伝統産業工芸会

B-4

1979年、業界の有志によって設立。その後、工芸品の展示即売を中心に行っている。着物のアフターサービスをしてくれるクリニックも併設。体験コーナーでは、友禅染や京陶人形の上絵付の体験学習ができる。また、見学できる工房の紹介を行っている。

所在地: 中京区寺町通四条上ル西側
京極一番街2F

電話: 075-221-1437

予約: 要

時間: 11:00~17:00
月曜、第1・3日曜、盆・正月休

アクセス 地下鉄烏丸線四条駅

友禅染体験

京都伝統産業ふれあい館

E-3

「京都市勸業会館(みやこめっせ)」の地下1階。66品目にのぼる伝統工芸品を一堂に展示した常設展示場があり、多彩な映像とパソコンの探索で、京都の手仕事を広くアピールする。体験コーナーでは、搾型友禅による、ハンカチ、Tシャツが作れる。

所在地: 左京区岡崎成勝寺町9-1

京都市勸業館(みやこめっせ)B1F

電話: 075-762-2670

予約: 団体要

時間: 10:00~17:00 月曜、年末年始休

アクセス 地下鉄東西線東山駅

手織りと着付け体験

西陣織会館

C-2

館内では手織の実演や着物ショーを上演。呉服、バッグ、小物、ネクタイなどの西陣織の製品を網羅した産地直販も行っている。手織教室では、ミニテーブルセンターが織れ、作品を持ち帰ることもできる。また、着物を見るだけでなく、舞妓衣装や十二単の着付け体験もできる。

所在地: 上京区堀川今出川南入ル

電話: 075-451-9231

予約: 要

時間: 9:00~15:30
年末年始休

アクセス 地下鉄烏丸線今出川駅

染と手織り体験

西陣ひなや工房

D-1

帯地メーカー「ひなや」が運営する、工房&ショップ。草木染場や手織機を見学する工房探訪コースや「染色体験」、「手織機体験」、絹糸を利用して四つ組紐に組む「手組体験」、無農薬、無添加の料理を楽しむ「自然食体験」など、さまざまな体験コーナーがある。

所在地: 上京区新町通上立売上ル

電話: 075-411-3602

予約: 要

時間: 10:00~18:00
土・日曜、祝日、年末年始休

アクセス 地下鉄烏丸線今出川駅

扇面絵付体験

京扇堂

A-5

京扇子ができるまでの工程を紹介しており、仕上げ加工の工程は実際に見学することができる。また、オリジナル京扇の創作が楽しめるコーナーを設置。所要時間は約90分で、描き上がった作品は、仕立て上げて約1ヶ月で送付される。

所在地: 下京区東洞院正面上ル

電話: 075-371-4151

予約: 要

時間: 9:00~17:00(昼除く)
年末年始休

アクセス JR 地下鉄烏丸線京都駅

象嵌体験

川人ハンズ

B-2

老舗、川人ハンズのショールーム。1階はギャラリーを兼ねたショールーム、2階には京象嵌の資料・参考品コーナー、そして地下にはアトリエ・デザイン室などを備え、象嵌教室では、ルーブタイやブローチを作ることができる。所要時間は約2時間。

所在地: 北区等持院南町76番地

電話: 075-461-2773

予約: 要

時間: 9:00~16:00(昼除く)
土・日曜、祝日、年末年始休

アクセス 市バス等持院通南町(京都駅前から#26)



組紐体験

安達くみひも館

D-2

日本でも珍しい組紐の資料館。様々な種類の組合や昔の道具類、組紐に関する文献など幅広い資料が展示される。人間国宝、組紐師、深見重助氏の貴重な作品も多数所蔵。帯締、髪飾りなどを作る1日体験も実施。多人数での体験は、休館日でも相談に応じる。

所在地: 上京区出水通烏丸西入ル

電話: 075-432-4113

予約: 要

時間: 9:00~16:00(昼除く)
第2・3・4土・日曜、祝日、年末年始休

アクセス 地下鉄烏丸線丸太町駅

七宝・木版画・木目込人形体験

京都ハンデクラフトセンター

E-2

外国人旅行者に日本の伝統技術のすべてを作品として見せられたら…との思いから、京都の伝統工芸品業者が協同設立した。七宝、象嵌、彫金、京人形など伝統工芸品業者の制作実演と展示販売を行っており、七宝、木版画、木目込人形の体験教室を実施している。

所在地: 左京区丸太町通東大路東入ル

電話: 075-761-5080

予約: 団体要

時間: 10:00~18:00

アクセス 市バス熊野神社前(京都駅前から#206)

座禅体験

天龍寺

B-3

春は桜、夏は緑、秋は紅葉…。四季折々の顔を持つ亀山と嵐山を風景に取り入れた庭園は国の特別名勝史跡。予約すれば庭園を眺めながら、精進料理が食べられる。座禅で気持ちを落ち着けた後に、伝統的な禅寺の料理を口に運べば、禅の境地にひたることができるだろう。

所在地: 右京区嵯峨天竜寺芒ノ馬場町

電話: 075-881-1235

予約: 要

時間: 随時(要調整)

アクセス 市バス嵐山天竜寺前(京都駅前から#28)

和紙体験

和詩倶楽部

C-3

衣装文庫、紙工品などの伝統的な和紙製品の製作はもちろん、案内状、室内装飾、店舗ディスプレイまで、和紙を用いての生活提案をしている。上手なラッピング方法も学べる。紙漉き体験の所要時間は30分~1時間。作った物をその場で持ち帰るのが嬉しい。

所在地: 中京区油小路二条上ル西側

電話: 075-231-4577

予約: 要

時間: 10:00~20:00
土・日曜、祝日休

アクセス 地下鉄東西線二条城前駅

金箔押し体験

小堀京仏具工房

F-5

京仏具の伝統的な製作工程にかかわる資料、仏壇制作に使用する材料、品質の違いが一目でわかる部材見本、京仏具の名品・逸品などを展示する京仏具資料館。金箔を一枚ずつ貼り、金粉を施す金箔押し体験も可能。

所在地: 山科区西野山百々町88

電話: 075-341-4121

予約: 要

時間: 10:00~16:00(昼除く)
月・土・日曜、祝日、年末年始休

アクセス 京阪バス清水焼団地(地下鉄東西線山科駅前から#29)

座禅体験

源光庵

A-5

1346年、大徳字の徹翁和尚の隠居所として開創。本堂前に広がる枯山水庭園は、四角い「迷いの窓」と丸い「悟りの窓」の両方から鑑賞できる。心静かに座禅を組めば、それぞれにこめられた仏意が自ずと見えてくるかもしれない。座禅後に、朝がゆが振る舞われるのも嬉しい(別料金)。

所在地: 北区鷹峯北鷹峯町

電話: 075-492-1858

予約: 団体要

時間: 7:00~9:00
第1・3日曜のみ

アクセス 市バス鷹峯源光庵前(地下鉄烏丸線北大路駅から#11)

京の歳時記

長い歴史と独特の文化を育み培ってきたまち、京都。1年を通じて行われる数多くの祭の中に、それは今もなお脈々と生き続けている。

1月
4
蹴鞠始め (けりはじめ)
 下鴨神社。4日。古くから御所に伝わる京の伝統芸能「蹴鞠」を京都蹴鞠保存会が皇室とゆかりの深い下鴨神社で奉納する。「蹴鞠」は8人の競技者が鹿の皮で作った球を落とさぬように蹴り合うもので中国から伝来した球技。7月7日には白峯神社でも行われる。

8-12
初ゑびす
 恵比寿神社。8日～12日。16世紀初め、京の商人が江戸(現在の東京)での行商の成功に感謝し、恵比寿大神を祀り、商いの神としたことに始まる。境内では恵比寿囃子が奏され、商売繁盛と家運隆昌を祈願する人々が、吉兆の福笹を買い求め、大変賑やか。

2月
25
梅花祭
 北野天満宮。25日。菅原道真が903年、大宰府で亡くなった日。生前の道真が梅の花を愛でたのになむ。道真の霊を慰めるために、紅白の梅を神前に供える。また、約2000本の梅の香りが立ち込める中、境内では上七軒の舞妓・芸妓による茶会が行われ、終日賑わう。

4月
春のおどり
 京の春を艶やかに演出する、「都をどり」「京おどり」「北野をどり」。それぞれの花街の舞妓、芸妓が地元で開かれる、日頃の芸の研鑽ぶりを披露する。中でも「都をどり」の歴史は古く、1872年、第1回京都博覧会の余興として創始された。



都をどり

3月
3
流鏑馬神事 (やぶさめしんじ)
 下鴨神社。3日。葵祭の最初の儀式として、境内を祓い清め、諸願成就を占う意味がある。公家装束を身につけた射手が、馬上から3ヶ所の菱形の的に鏑矢を射ることから流鏑馬と呼ぶ。一説には「矢馳馬」のなまりからとも言われる。

15
葵祭
 下鴨・上賀茂神社。15日。京都三大祭の一つ。全長700mの王朝風俗の行列が京都御所を出発、下鴨神社を経て、上賀茂神社へ向かう。その起こりは6世紀半ば。正しくは加茂祭だが、その行列のすべてに葵の葉が飾られるので、その名がつく。

第3土曜日
三船祭
 車折神社。第3日曜。嵐山大堰川で繰り上げられる舟遊びの祭礼。898年、宇多上皇がここで詩歌管絃の舟遊びをされた故事になみ、祭化したもの。竜頭船、鷗首船をはじめ、20余席の船が詩歌、管絃、舞楽の優雅な王朝絵巻を再現する。

鴨川川床
 三条・四条間の鴨川西岸の「みそぎの川」上に毎年5月1日から4ヵ月半の間、先斗町の料理店などが木材で高さ2.3mほどの納涼床を立てる。床の上には古風な提灯がどもり、東山を眺めながらの夕涼みは格別である。京の夏の風物詩の一つ。

1/2
1/2
京都薪能
 平安神宮。1日・2日。1950年、京都市・京都能楽会の共催で始められ、歴史は新しいが、奈良の興福寺の薪能を模した古式ゆかしいもの。新宮の広大な社殿の前に、特設の舞台が組まれ、かがり火のゆらめきの中、幽玄な能が演じられる。



祇園祭

7月
1-31
祇園祭
 八坂神社。1日～31日。869年、京都に疫病が流行した際に祇園社から神輿を出し、日本全国の国数の66本の鉾を立て、神泉苑に送り、悪疫退散の祈願をしたのが始まりとされる。1ヶ月に及ぶ行事のうち、14～16日の宵山と17日の山鉾巡行がハイライト。

8月
7-10
陶器祭
 若宮八幡宮。7日～10日。五条大橋一帯に全国から約500軒もの陶器業者が店を並べ、掘り出し物を求めて、多くの人が訪れる。神社境内では陶芸作家の作品展や楽焼などの実演や販売も行われ、8日には陶器神輿も出陣する。

16
五山送り火
 大文字山など五山。16日。先祖の霊をあの世へ送り、また無病息災を願う護摩木を山上で燃やす仏教行事。京都盆地の周辺の山に「大」、「妙法」の字や鳥居、船を形どった火が次々に点火される。祇園祭・鴨川の川床とともに夏の風物詩である。

9月
観月の夕べ
 大覚寺。中秋の名月。日本三大名月鑑賞地の一つ。大沢池に竜頭船、鷗首船などを浮かべ、船上より観月する。船上では茶席が設けられるほか、池畔では琴や尺八の演奏が行われる。五大堂では満月法要や献花式なども営まれる。



時代祭

10月
22
時代祭
 平安神宮。22日。1895年平安遷都1100年を記念して、平安神宮創建とともに始まった祭。京都1100年の各時代の代表的な人物と風俗を約1700人の行列によって表す、一大時代風俗絵巻。京都御所を出発し、約3時間ほどで平安神宮に到着する。

22
鞍馬の火祭
 由岐神社。22日。京都三大奇祭の一つ。祭神を京都御所から鞍馬の里に迎えた時の模様を現在に伝える。家々の軒先でかがり火が焚かれ、大小の松明が町を練り、神社の広場には2基の神輿がかつぎこまれる。冬の到来を告げる京の伝統ある行事である。

11月
第2土曜日
嵐山もみじ祭
 嵐山渡月橋一帯。第2日曜。嵐山小倉山の紅葉の美しさを讃え、感謝するとともに嵯峨野一帯にまたがる豊かな史跡や文化を紹介する。色とりどりの船を仕立て、大堰川一帯で屋台舟を浮かべ、その上で歌や舞、管絃などを披露。川畔では嵯峨大念仏狂言が披露される。

12月
1
1
献茶祭
 北野天満宮。1日。茶道の隆盛を願って行われる神事。1587年10月に豊臣秀吉が催した北野大茶会にちなんで開催。11月26日の御茶壺奉獻祭で奉納されたお茶で神前に献茶した後、境内明月舎や上七軒歌舞練場などで茶席が設けられる。茶券有料。

京の花暦

梅

(見頃2月上旬～3月下旬)

北野天満宮

「天神さん」と愛称される北野天満宮は学問の神様、菅原道真を祭神とする。「東風(こち)吹かば匂いおこせる梅の花 主なしとて春な忘れそ」自邸を「紅梅殿」と名付けたほど梅の花を愛した道真の九州下向の際の歌である。現在、「天神さん」には約2,000本の梅が植えられており、それらは2月頃から咲き、中咲き、遅咲きと3月終わり頃まで咲き継いでゆく。



桜

(見頃4月上旬～下旬)

円山公園

八坂神社の背後に広がる円山公園には各種約8,000本もの桜の木がある。中でも園内中央の「祇園枝垂桜」は「円山の夜桜」ともいわれ格別である。無数の花枝が上に横にと伸びた桜の元にはかがり火がたかれ、夜空にその花姿が浮かび上がる。

平野神社

平野神社は古くから仁和寺とともに桜の名所といわれ、仁和寺の「御室の桜」に対し、ここは「平野の桜」と呼ばれる。その特徴は、特に品種が多いことである。そのため、他になく花期が長い。さくらんぼのような大きな実がなる「桃花」が3月半ばから咲き、すぐそのあとに「ささげ桜」が続くといった具合に4月いっぱいまで様々な桜が咲き継ぐ。

仁和寺

古くから「平野の桜」と対して称されてきた仁和寺の「御室の桜」は高さ3メートル足らずの里桜で根元近くから枝を伸ばし、地上すれすれの枝にまで花をつける。「わたしやお多福、御室の桜、花(鼻)が低くても人が好く」と歌われるこの桜は遅咲きで、古都の桜の見納めとなる。



数多い京都の観光名所は、古来より花の名所でもある。四季折々に美しく咲き誇る花たちが京都の旅を一層思い出深いものとしてくれる。

さつき

(見頃5月下旬～6月上旬)

松尾大社

酒造りの神として知られる松尾大社は「神は松の尾」と「枕草子」にもあるほどの古社。本殿裏には昭和になって設けられた松風苑という庭園があり、古代を意識した「磐座(いわくら)の庭」、王朝風の「曲水の庭」、鎌倉風の「蓬萊の庭」の三様からなる。蓬萊の庭にさつきが咲くと、単調な色合いに花色が映え、庭が一層鮮やかとなる。

紅葉

(見頃11月中旬～12月初旬)

東福寺

東山の山腹と深谷を利用した広大な境内をもつ東福寺は京都の中でも有数の紅葉の名所である。境内に洗玉澗と呼ばれる深谷があり、そこのかえて約2,000本が真っ赤に染め上がる。本堂と開山堂を結ぶ通天橋から見下ろすことが出来るのが、東福寺ならではの楽しみだ。

嵯峨鳥居本

奥嵯峨の化野念仏寺をさらに山寄りに行くと、朱塗りの大きな鳥居が立つ。鳥居本とはこの付近のことをいう。奥嵯峨の紅葉というと、きまって写真や映像の被写体となるのがこの辺り。店先では床机を置き、昔ながらの暖簾と提灯を下げて愛宕神社の参拝客を迎える。そんな茶屋が紅葉に彩られ、一層趣を濃くしてくれる。

神護寺

高雄山中に位置する神護寺。高雄山には紅葉を代表するイロハモミジが多い。別称タカオモミジという。もちろん高雄からきている。長い石段を登り境内へ、地藏院の庭から錦雲溪を眺めると、北山杉を背景にして紅葉が一層鮮やかに見える。その錦雲溪に向かって厄除けの「かわら投げ」がおすすだ。

紫陽花

(見頃6月中旬～7月中旬)

藤森神社

藤森神社は平安京遷都以前より鎮座する古社であり、菖蒲の節句の発祥の地といわれる。5月5日の「藤森祭」を終え、1ヶ月もすると参道西側と本堂北側の紫陽花苑が色づき始める。3,500株の紫陽花が雨に打たれ、薄紅、薄紫、青、紅と日々色を変える。満開の頃、6月15日には紫陽花祭が行われ、ライトアップされた花々が美しい。

菊

(見頃10月上旬～11月下旬)

貴船神社

水が澄み、うっそうと木々が生い茂る貴船に鎮座する貴船神社では、秋に神前に紅葉と白の貴船菊(京都では秋明菊のことをこう呼ぶ)を備えて菊花展を営む。貴船菊の本場ならではの行事である。この時期、神社近くの料理旅館などでは店先に貴船菊を植え込み客を迎える。「菊の香や 垣の裾にも 貴船菊」と歌にも詠まれるほどである。

椿

(見頃2月上旬～4月中旬)

法然院

「掃きよせて 椿ばかりや 法然院」と詠まれた法然院は、うっそうと茂る木々の中に参道を敷く。春、この石段に椿の落花が数限りなく見られる。春の特別公開(4月上旬)の期間中は、本堂内の「三名椿(さんめいちん)」を見ることが出来る。三名椿とは「花笠椿」、「貴(あて)椿」、「五色散り椿」のこと。「花笠椿」は紅に白斑のある八重、「貴椿」は白に紅の縦紋で八重。「五色散り椿」は、紅や、薄紅、白班入りなど、色とりどりの花が咲く。これら三本の椿が本堂中庭に一列に並ぶ。

つつじ

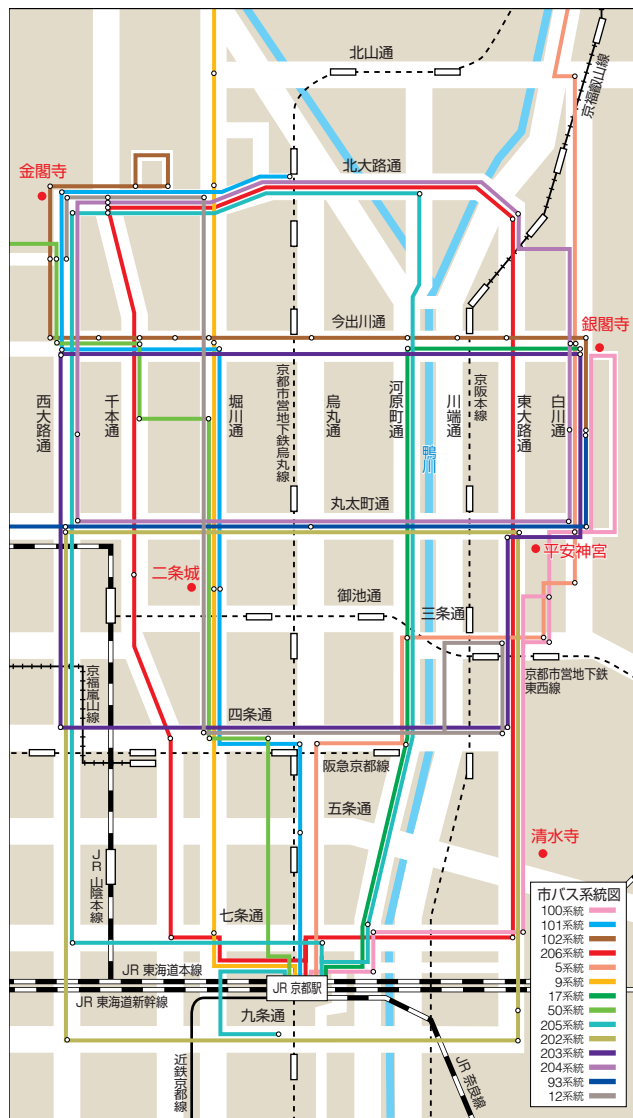
(見頃4月上旬～5月中旬)

随心院

山科の南に位置する小野の里は、平安時代の絶世の美女であり歌人である、小野小町ゆかりの地とされ、随心院が小町ゆかりの寺とされる。寺には小町の「化粧の井戸」跡や、小町宛の干束の恋文を埋めた「文塚」などが残される。白壁の塀に囲まれた随心院は小町の伝説にふさわしく花々が咲き乱れる美しい寺である。4月から5月には参道や庭にキリシマツツジが咲き続く。

京都の人気スポット巡り

市内を縦横無尽に走る京都の市バス。その市バスを利用して、市内各所に点在する人気スポットを巡ってみませんか。一見複雑そうに見えるバス路線も、慣れてしまえばとても便利で、お手軽な観光コースが簡単に組めてしまう。観光客の強い見方。清水の舞台で知られる東山の名刹「清水寺」、大きな朱色の鳥居が印象的な「平安神宮」、風流な雰囲気を持つ「銀閣寺」、京都のシンボルとも言える絢爛豪華な「金閣寺」、歴史の舞台として威風堂々とした姿を残す「二条城」など京都の人気観光スポットを効率よく回ることができるので、大いに活用することができる。



各観光地間移動早見表

降車地	京都駅 ●市バス 京都駅前 ◆地下鉄 京都駅	清水寺 ●市バス 清水道	平安神宮 ●市バス 京都府会館 美術館前 東山二条 岡崎道 ◆地下鉄 東西線 東山駅	銀閣寺 ●市バス 銀閣寺前 銀閣寺道	二条城 ●市バス 二条城前 堀川丸太町 ◆地下鉄 東西線 二条城前駅	金閣寺 ●市バス 金閣寺道
乗車地						
京都駅	●市バス 京都駅前 ◆地下鉄 京都駅	●市バス 特206、 206、100 清水道下車	●市バス 特206、206、 5、100 京都府会館 美術館前 下車 ◆地下鉄 東西線 東山駅下車	●市バス 5、17 銀閣寺道 下車 ●市バス 100 銀閣寺前 下車	●市バス 9、50、101 二条城前下車 ◆地下鉄 烏丸線 烏丸御池駅 乗換 東西線 二条城前駅 下車	●市バス 101、205 金閣寺道 下車
清水寺	●市バス 特206、 206、100 京都駅前 下車		●市バス 202、206、 特206 東山二条 下車 ●市バス 100 京都府会館 美術館前 下車	●市バス 100 銀閣寺前 下車	●市バス 207 四條堀川で 9、12、50に 乗換 二条城前 下車	●市バス 100 銀閣寺道で 102、204に 乗換 金閣寺道下車
平安神宮	●市バス 5、特206、 100 京都駅前 下車 ◆地下鉄 東西線烏丸 御池駅乗換 烏丸線京都 駅下車	●市バス 100、特206 清水道下車 又は(東山 二条から) 202、206、 特206		●市バス 5、32(京都府 会館美術館前 から)銀閣寺道 下車 ●市バス 100(京都府 会館美術館前 から)銀閣寺 前下車	●市バス 202 (東山二条から) 堀川丸太町 下車 ◆地下鉄 二条城前駅 下車	●市バス 204 (岡崎道から) 金閣寺道 下車
銀閣寺	●市バス 5、17、100 京都駅前 下車 ◆地下鉄 東西線 二条城前駅	●市バス 100 清水道下車	●市バス 5、32、100 京都府会館 美術館前 下車		●市バス 204 堀川丸太町 下車	●市バス 102、204 金閣寺道 下車
二条城	●市バス 9、50、101 京都駅前 下車 ◆地下鉄 東西線 二条城前駅	●市バス 9、12、50 四條堀川で 207に乗換 清水道下車	●市バス 202 (堀川丸太町 から) 東山二条下車 ◆地下鉄 東西線 東山駅下車	●市バス 204 (堀川丸太町 から) 銀閣寺道 下車		●市バス 101、204 (堀川丸太 町から) 金閣寺道 下車
金閣寺	●市バス 101、205 京都駅前 下車	●市バス 204 熊野神社前 で202、206 に乗換 清水道下車	●市バス 204 岡崎道下車	●市バス 102、204 銀閣寺道 下車	●市バス 101、204 堀川丸太町 下車	

京都を歩こう ウォーキングモデルコース

数多くの神社仏閣を持つ京都は歴史的伝統文化の宝庫。四季折々の自然、美しい町並み、そしてそこに暮らす人々との出会いを求めて、京の町を歩いてみてはいかが。



A 京都駅ビル周辺散策コース

東寺—梅小路公園—西本願寺—東本願寺—涉成園—京都駅ビル



ハイライト ●●●● Highlights

日本最大の五重塔がある東寺から、大宮通を北上すると緑豊かな梅小路公園にたどり着く。広い園内には、梅小路蒸気機関車館や、庭園を備えたレストランがある。一息ついた後は、「お西さん」「お東さん」の名で親しまれる西本願寺、東本願寺へ。さらに東本願寺の庭園である涉成園では、四季折々の花が愛でられる。最後は京都の表玄関、見所の多い京都駅ビルへ。

【所要時間】

東寺⇒(15分)⇒梅小路公園⇒(20分)⇒西本願寺⇒(10分)⇒東本願寺⇒(2分)⇒涉成園⇒(5分)⇒京都駅ビル

C 南禅寺周辺散策コース

南禅寺—永観堂—哲学の道—銀閣寺



【所要時間】

南禅寺⇒(3分)⇒永観堂⇒(すぐ)⇒哲学の道⇒(40分)⇒銀閣寺

ハイライト ●●●● Highlights

レンガ造りの水路閣が美しい、南禅寺の山門を出て、紅葉と見返り阿弥陀で知られる永観堂へ。そのまま東へ歩けば、桜の名所、哲学の道。約2kmの小道を哲学者になった気分で散策しながら銀閣寺へ。白砂が穏やかな波のように敷かれた美しい庭園は必見。

B 清水寺周辺散策コース

清水寺—産寧坂—二年坂—石塀小路—円山公園—知恩院—青蓮院



【所要時間】

清水寺⇒(2分)⇒産寧坂⇒(3分)⇒二年坂⇒(5分)⇒石塀小路⇒(10分)⇒円山公園⇒(5分)⇒知恩院⇒(3分)⇒青蓮院

ハイライト ●●●● Highlights

清水の舞台で知られる東山の名刹、清水寺から陶器や骨董、茶店が点在する風情ある町並みが続く、産寧坂から二年坂、石塀小路を散策。桜の名所で知られる円山公園で、四季折々の自然を堪能した後は、知恩院から日本三不動の一つ、青不動を寺宝に持つ、青蓮院へ。気品に満ちたたたずまいが門跡寺院にふさわしい。

D 大原・鞍馬ハイキングコース

大原—寂光院—江文峠—静原—薬王坂—鞍馬



ハイライト ●●●● Highlights

山里の風情が溢れる寂光院から江文峠の登り口へ。珍しい升型の絵馬のある江文神社には是非立ち寄りた。杉木立の山道を歩くと、やがて、江文峠に着く。200mほど車道を歩き、再び山道に入ると、静原の集落へ。石仏が迎える、薬王坂の頂上を越えると鞍馬寺の鐘の音が静かに聞こえる。

【所要時間】

大原⇒(20分)⇒寂光院⇒(60分)⇒江文峠⇒(25分)⇒静原⇒(30分)⇒薬王坂⇒(20分)⇒鞍馬

京都を歩こう ウォーキングモデルコース



E 金閣寺周辺散策コース

金閣寺—龍安寺—仁和寺—妙心寺



【所要時間】
 金閣寺⇒(20分)⇒龍安寺⇒(15分)⇒仁和寺⇒(10分)⇒妙心寺

【ハイライト】
 Highlights
 金閣寺を皮切りに、名刹を結ぶ「きぬかけの道」を歩くコース。衣笠山麓の赤松林を縫うこの道を歩くと、石庭で知られる龍安寺に。再び観光道路を山沿いに進むと、遅咲き桜で有名な仁和寺に着く。広大な敷地に47の塔頭を有する妙心寺では、見るべきものがたくさんある。

G 伏見稲荷大社周辺散策コース

泉涌寺—東福寺—大橋家庭園—伏見稲荷大社



【所要時間】
 泉涌寺⇒(15分)⇒東福寺⇒(15分)⇒大橋家庭園⇒(すぐ)⇒伏見稲荷大社

【ハイライト】
 Highlights
 禅寺最古最大の建物を誇る風格ある東福寺、楊貴妃観音像で知られる泉涌寺を見学した後は、大橋仁兵衛が作った別荘の庭園、苔涼庭へ。五穀豊穡・商売繁盛の神として名高い伏見稲荷大社では、山中の祠をめぐる「お山めぐり」を体験したい。

F 嵐山・嵯峨野周辺散策コース

渡月橋—天龍寺—野宮神社—常寂光寺—祇王寺—清涼寺—大覚寺

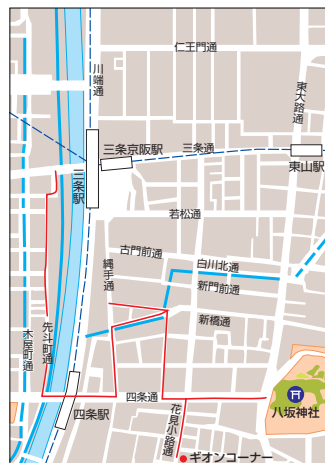


【所要時間】
 渡月橋⇒(5分)⇒天龍寺⇒(3分)⇒野宮神社⇒(7分)⇒常寂光寺⇒(10分)⇒祇王寺⇒(10分)⇒清涼寺⇒(10分)⇒大覚寺

【ハイライト】
 Highlights
 嵐山を水面に映しながら流れる大堰川に架かる渡月橋から、天龍寺へ。北門を出て、風情ある竹林の小道を抜けると、ひっそりと静まり返る小庵や、石仏と出会える。縁結びの神で知られる野宮神社、大河内山荘、常寂光寺など、有名社寺が点在。見所が広範囲なので、レンタサイクルを使って回るのもよい。

H 八坂神社・祇園周辺夜の散策コース

先斗町—祇園新橋—八坂神社—ギオンコーナー



【所要時間】
 先斗町⇒(15分)⇒祇園新橋⇒(10分)⇒八坂神社⇒(5分)⇒ギオンコーナー

【ハイライト】
 Highlights
 昔ながらの料亭やお茶屋さんが立ち並ぶ先斗町から、四条大橋を渡り、情緒溢れる祇園新橋へ。四条通を東に進むと、「祇園さん」の名で親しまれる八坂神社に突き当たる。夜遅くまで賑やかで、夜の散策も安心して楽しめる。祇園甲部歌舞練場の北側にある、ギオンコーナーでは夜に古典芸能が手軽に楽しめるので、外国人観光客に人気。

京の市

骨董品、着物、植木などのお店で境内がいっぱいに。掘り出し物を見つけて、その場で値段交渉をするのも、京の市の一つの楽しみ方である。



東寺(毎月21日)

C-5

弘法大師の命日にちなんで1200点もの露店が軒を連ねる大規模な市が立つ。「弘法さん」の名で親しまれている。1月の「初弘法」、12月の「終い弘法」は特に賑わう。また、毎月第一日曜日にも市は開かれている。
電話: 075-691-3325

アクセス 近鉄東寺駅



北野天満宮(毎月25日)

B-1

菅原道真の誕生日と命日。「天神さん」と呼ばれ、食べ物屋をはじめ、古道具、植木、衣類などのお店で賑わう。中には鉄道での忘れ物など、珍しいものもある。
電話: 075-461-0005

アクセス 市バス北野天満宮前(京都駅前から#50、101)

その他の主な京の市

今宮神社

(毎月1日)

電話: 075-491-0082

アクセス 市バス今宮神社前

A-5

知恩寺

(毎月15日)

電話: 075-781-9171

アクセス 市バス百万遍(京都駅前から#206)

E-2

妙蓮寺

(毎月12日)

電話: 075-451-3527

アクセス 市バス堀川寺ノ内

C-1

上御霊神社

(毎月18日)

電話: 075-441-2260

アクセス 地下鉄烏丸線鞍馬口駅

D-1